

〈 取付・設置説明書 〉

無垢の木の洗面台

(ユニットタイプ / オープンタイプ)

株式会社 ウッドワン フリーダイヤル
お客様相談室 0120-641-265
(キッチン専用フリーダイヤル)

受付時間【平日・土日祝】9時～18時 ※年末年始・夏期休暇を除く

●土日・祝日は受付のみ。対応は翌営業日以降となります。

●電話または訪問にて状況をおうかがいした後、改めて修理訪問させていただく場合がございます。

●ご不明な点は、お気軽にご相談ください。

取付・設置される方へお願い

- ※取付業者の安全と使用者の安全確保のために、この取付・設置説明書をよくお読みになり、安全で正しい取付・設置を行ってください。
- ※この取付・設置説明書の記載内容を外れた設置が原因で生じた故障および不具合は、保証期間内であっても保証の対象となりません。
- ※取付・設置が終わったら取付設置後の点検のチェックリストに基づいて再確認してください。
- ※取付・設置後、取扱説明書(保証書付)の保証書に必要事項を記入し、必ずお客様に渡してください。
- ※取付・設置に伴って、石綿を含有する建材を使用した建築物等の解体等の作業が発生する場合は、石綿障害予防規則に基づき、必要な処置を講じてください。
- ※取付・設置で発生した廃棄物は、廃棄物処理法の法令にしたがって処理をおこなってください。

取付・設置後の点検

取付・設置が終わったら、チェックリストに基づいて必ず再確認をおこなってください。

項目		チェックリスト	チェック
設置条件	1	図面どおりに取付設置されているか	
洗面台	2	洗面ボウルに傷、割れはないか	
	3	キャビネットは壁にしっかり固定したか、ガタツキはないか	
	4	キャビネットと各部材の連結はしっかりされているか	
	5	キャビネットと各部材の上下・前後は揃っているか	
	6	引き出しの動きはスムーズか	
	7	扉の上下・左右・前後のバランスは良いか	
	8	開閉時の調子は良いか、丁番・レールの緩みはないか	
	9	コーキング(シーリング)処理は適切で、きれいに仕上がっているか	
	水栓	10	水栓に傷はないか
11		ボウルにしっかり固定したか	
12		ホースの引き出し、収納が容易におこなえるか	
13		レバーの動きはスムーズか	
給水・給湯・排水配管	14	流量は調整したか	
	15	排水トラップはしっかり固定したか	
	16	下水管との接続に、防臭キャップもしくは、排水管アダプターを取付けしたか【管工事】	
	17	給水・給湯配管の接続は間違いないか【管工事】	
	18	各配管接続部からの水漏れはないか(バケツを用意)	
お客様への説明	19	正しく快適に使用してもらうため、説明したか	
全体・その他	20	各部品・部材にキズ・汚れはないか	
	21	各部品・部材にガタツキ・キシミはないか	
	22	取付後きれいに清掃したか(キャビネット・扉・引き出し内・ボウル)	
	23	保証書は1か所に保管したか	
	24	養生はしたか(特にボウル)	
	25	付属品などは不足なく揃っているか	
	26	取扱説明書は必ずお客様にお渡しください	
取付・設置店		取付・設置日	取付・設置責任者



■お客様への取り扱い説明

- ・取扱説明書にしたがって説明してください。
- ・保証書に必要事項を記入してください。
- ・取扱説明書(保証書付)をお客様に渡してください。




安全上のご注意 (必ずお守りください)






取付・設置される人への危害を未然に防止するためと、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するために、取付・設置においては、必ずお守りいただくことを次に説明しています。

- 表示内容を見逃して誤った取り付けをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「障害を負う可能性または物理的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。(下記は図記号の一例です。)

	この図記号は、してはいけない「 禁止 」内容です。
	この図記号は、必ず実行していただく「 強制 」内容です。
	この図記号は、気をつけていただきたい「 注意喚起 」内容です。

 警告	
 分解禁止	分解、修理、改造はしないでください。 感電や、故障の原因、強度の不足による落下、転倒してけがをするおそれがあります。
 必ず行う	電気工事・水道工事は関連する法令・規定にしたがって必ず「有資格者」がおこなってください。 火災・感電・水漏れの原因になることがあります。 ブラケット類は必ず当社が指定する間隔で取り付けてください。 強度不足により落下して、けがをするおそれがあります。 洗面化粧台製品やその付属品の取付・設置説明書および製品の本体の表示に従って、正しく設置してください。 製品の事故や故障、作業者への傷害の原因になることがあります。 製品の固定には、必ず付属品の指定ねじ(ビス)を使用してください。 倒れたり、落下してけがの原因になります。
 禁止	設置時にねじなどで電気コードを傷をつけないでください。 電気コードを傷つけると火災のおそれがあります。
 必ず行う	取付・設置は建築壁の構造を確かめて正しくおこなってください。 思わぬ事故や故障の原因になることがあります。 組込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの取付・設置説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。 思わぬ事故や故障の原因になることがあります。 現場で使用する接着剤やシール材、溶剤、洗剤、その他の化学薬品類などは、説明書(注意書き)に従って、正しく取り扱ってください。 製品の損傷や事故、作業者や使用者への健康危害の原因になることがあります。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

⚠ 注意



必ず行う

取付・設置完了後は、扉のガタつき、丁番にゆるみがないことを必ず確認してください。

扉の取付に異常があると、使用中に落下してけがをするおそれがあります。

排水金具・排水ホースの取付および給排水管の接続部分のシールは、説明書どおり正しくおこなってください。(管工事)

水で濡れたり、湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。臭いやカビの発生原因になることがあります。



必ず行う

棚受けダボを確実に奥まで差し込んでください。

奥まで差し込まれていない場合、棚板が落下してけがをするおそれがあります。

キャビネットを設置する際には水平・垂直のレベルを出してください。取付後にガタつきがないか確認してください。

⚠ 注意

木製カウンターについて

- 完全耐水仕様ではありません。浴室などの水掛かりの多い場所や、多湿な場所では使用できません。
- 木材が吸水しないように全ての面を塗装しています。現場で加工しないでください。加工した面から吸水し不具合がおこるおそれがあります。
- 塗膜を傷つけてしまった場合、木材への水分の浸入を防ぐため、必ず市販の防水塗料等で補修してください。
- 木材は環境の変化により収縮膨潤します。両壁納めの場合は、カウンターの膨潤を考慮し片側2mm以上のクリアランスを設けてください。
- 直射日光のあたる場所や湿度の高い場所、壁へ立てかけての保管はしないでください。
- 照明やストーブなど高熱を発するものを近づけないでください。反りや割れ、変色がおこるおそれがあります。

全体について

- 湿気の多い場所は、木部が水を含んで腐ったりするおそれがあるので避けてください。
- 直射日光が当たる場所、火気の近くは、変色・変形のおそれがあるのでさけてください。
- 製品を固定する壁面は平らに、かつ床面に対して垂直に仕上げてください。幅木などがある場合は、建築側と調整して製品が壁面にすき間なく固定できるようにしてください。
- 設置する取り付け壁の強度を確認し、不足している場合は補強してください。
- カウンターボウル、キャビネットに傷をつけたり、物を落としたり、カウンターボウルの上に乗らないでください。
- 寒冷地では給水、給湯管が凍結し、使用不能になったり破損することがあります。各地水道局の指導にしたがって配管工事をしてください。
- ビスで固定する場合は下穴をあけてください。商品が割れるおそれがあります。
- コンクリートやモルタルに直付けしないでください。反りや割れ、変色がおこるおそれがあります。
- カウンターと壁の間にシリコンコーキング（防かびタイプ）を行ってください。
- 木材塗装部にアルコール・シンナーなどの薬品が付着させないでください。塗膜が変色したりツヤが変化するおそれがあります。
- 洗面ボウルが壁に設置するボウルの場合、壁に被水のおそれがありますので、壁面を耐水壁、耐水クロスなどで必ず仕上げてください。

必ず弊社指定の木製カウンター補修セット又は市販の防水塗料で補修してください。

木製カウンター補修セット

(内容：艶消しスプレー・サンドペーパー・接着剤・プライマー)

<https://www.woodone-onlineservice.com/>

ウッドワンパーツショップ

検索

工事区分 ガイドライン

●洗面化粧台の工事区分

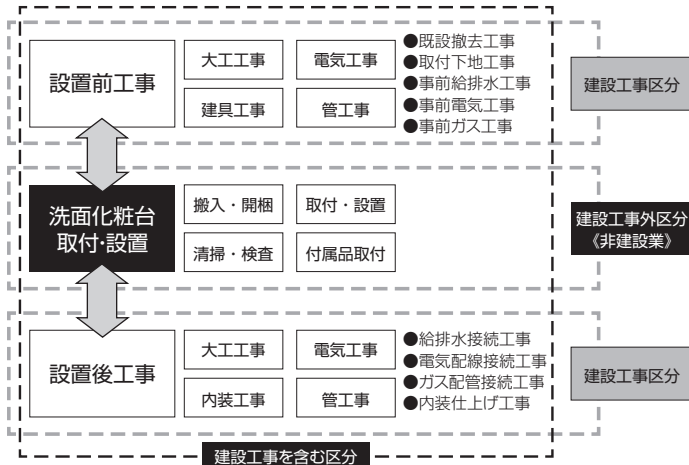
本説明書は、洗面化粧台本体組立・設置と関連工事（建設工事）である大工事、電気工事、管工事（給排水）などと区別して説明しています。

建設工事は関連する法令・規定に従って法的有資格者による工事が必要になります。

流通店様からの発注で下請けとして本体の「取付・設置」を行う場合は、建設工事部分と洗面化粧台本体「取付・設置」を区別して行ってください。

設置前工事、設置後工事の一部でも含む場合は、建設工事になります。

●洗面化粧台の「取付・設置」と工事区分



- ① 大工事**
ミラー・キャビネット・ウォールユニット設置・取付のための下地工事等
- ② 大工事/内装仕上げ工事**
壁造作工事・クロス工事
- ③ 電気工事**
コンセント及び、照明等電源接続ターミナルへの一次側電源の直結工事
- ④ 電気工事**
コンセント取付及び一次電源工事
- ⑤ 管工事**
止水栓・クロムメッキ化粧管を含む給水・給湯管の接続工事
- ⑥ 管工事(排水管接続工事)**
排水部品(商品の付属する排水トラップの組立は、洗面化粧台本体「取付・設置」区分に含まれる)

●洗面化粧台の工事部分〈例示〉

洗面化粧台 工事区分	部位 (図)	区分	作業名称(区分)	建設 工事			洗面化粧台 取付	作業内容
				大 工 事	管 工 事	電 気 工 事		
設置前工事	① ②	大工	建築壁の下地工事	○				ミラー・キャビネット・ウォールユニット取付のための壁下地処理工事
			建築壁の造作・壁仕上げ工事	○				壁造作(ボード貼り工事)及び壁仕上げ(クロス・廻り縁・幅木)工事
	③	電気	電気配線事前工事			○		電源・コンセント等の事前配線工事
	⑤ ⑥	管	給水・給湯配管立上げ工事		○			
排水管立上げ工事				○				排水管立上げ工事
洗面化粧台 本体取付設置		建設工事 外区分	洗面化粧台取付				○	洗面化粧台(フロアーユニット、カウンター、洗面器等)を取付ける作業
			ミラー取付				○	ミラーを取付ける作業
			ウォールユニット取付				○	ウォールユニットを取付ける作業
			トールユニット等の取付				○	トールユニット等を取付ける作業
			排水部品の組立				○	排水部品の組立
			水栓類の組立・取付				○	水栓類の組立、カウンターへ取付ける作業
			製品間のシリコン充填				○	製品間の隙間を仕上げる処理作業
			試運転、完成検査(注記1)				○	完成後の試運転、性能確認検査
設置前工事	④ ⑤ ⑥	電気 管	化粧キャビネットの電気工事			○		化粧キャビネット等の電源用ターミナルに直結する工事
			給水・給湯配管接続工事		○			給水・給湯(クロムメッキ化粧管・止水栓共)と水栓接続工事
			排水管接続工事		○			排水部品と建築側排水管接続工事

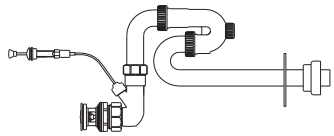


注記1) 製品の完成品検査、試運転は、工事完成後行う場合が多い。

付属部品の確認

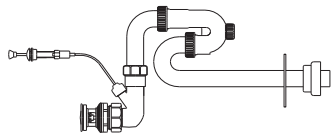
梱包内には下記の付属部品が入っています。
取り付けの前に確認すること。

洗面ボウル



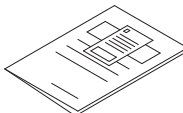
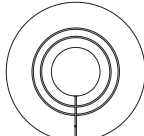
●陶器・鋳物ホーローボウルの場合

部品名	洗面ボウル本体	排水金具、排水トラップセット ※形状やタイプはボウルの種類によって異なります。	プチルテープ	シリコンシーラント
形状				

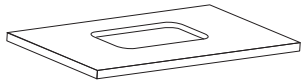
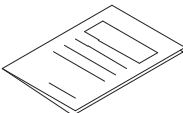
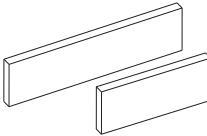
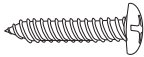
●人大一体型カウンターボウルの場合

部品名	洗面ボウル本体	排水金具、排水トラップセット ※形状やタイプはボウルの種類によって異なります。
形状		

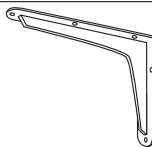


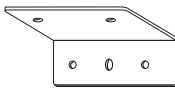


本体キャビネット

部品名	本体キャビネット	皿ねじ(4.5×65) (化粧キャップ・ワッシャー付) 〈壁面固定用〉	トラスねじ(4×12)	取扱説明書	シーリングプレート
形状		 (2本)	 (6本)		


カウンター

部品名	カウンター	取扱説明書	幕板 ※無しの仕様もあります。	トラスねじ(4×30) 〈幕板固定用〉
形状				

固定金具

部品名	ブラケット	なべ頭ねじ(5×45) 〈壁面固定用〉	なべ頭ねじ(5×16) 〈カウンター固定用〉	L金具	トラスねじ(4×65) 〈壁面固定用〉	トラスねじ(4×16) 〈カウンター固定用〉
形状		 (4本)	 (4本)		 (3本)	 (2本)

パネル・フィラー

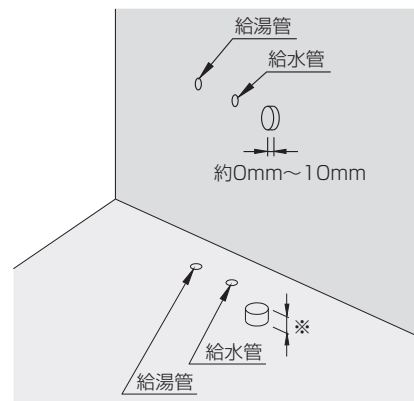
部品名	パネル・フィラー	ジョイントスクリュー(4×28) 〈連結ビス〉
形状		 (6本 又は 12本)

取付・設置前の確認

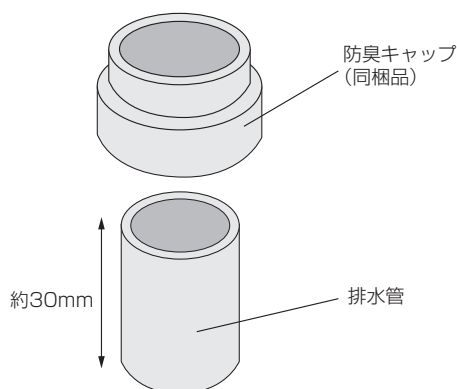
配管位置の確認

- (1) 給水、給湯管および排水管が所定の位置に取り出しているか確認する。
(位置は商品図または施工図を確認してください。)
- (2) 排水管は塩ビ管VU40、VU50またはVP40、VP50を使用する。
床排水管は、設置床面より約30mm立ち上げておく。
- (3) 給水、給湯の使用水圧条件が確保されていることを確認する。
(水栓に付属の説明書を参照ください。)

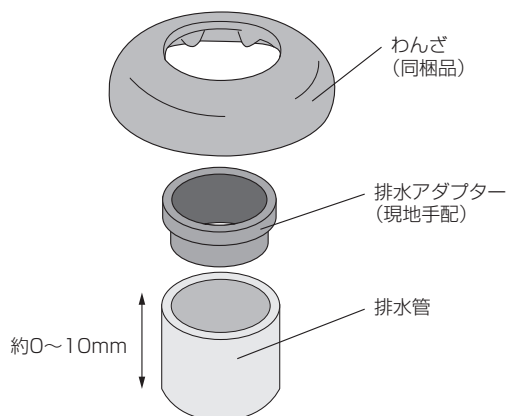
●床・壁配管の確認



●樹脂配管の床排水の場合



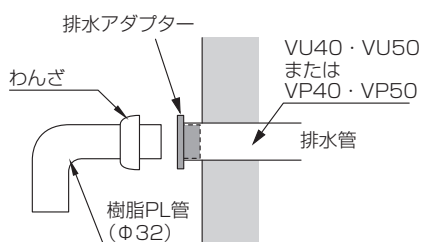
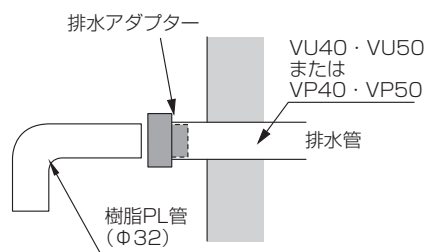
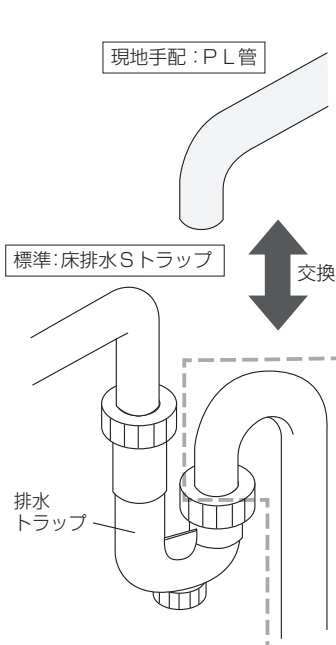
●金属配管の床排水の場合



●樹脂配管の壁排水の場合

PL管と排水アダプターを現地手配してください。

※接着には塩ビパイプ用接着剤を使用してください。

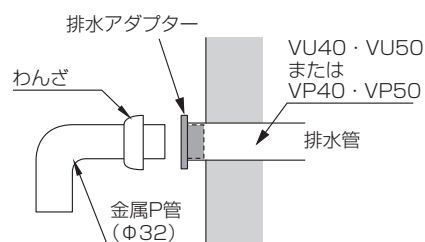
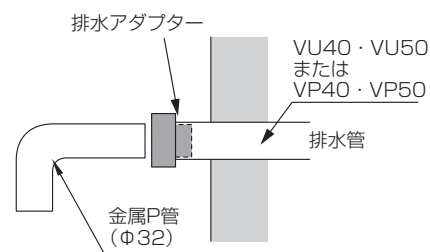


※PL管、排水アダプター、わんざは現地手配が必要です。

●金属配管の壁排水の場合

排水アダプターは現地手配してください。

※接着には塩ビパイプ用接着剤を使用してください。



※PL管、排水アダプター、わんざは現地手配が必要です。

取付・設置前の確認

⚠ 注意

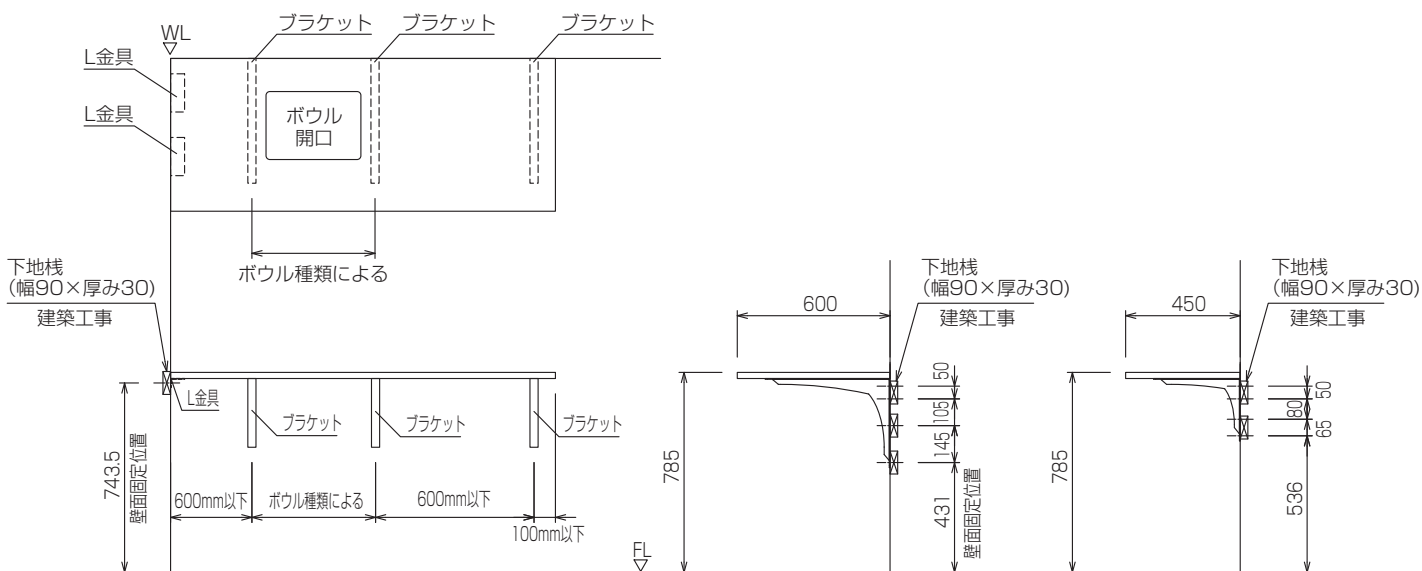
○取り付け位置に下地材があるかを確認してください。

設置の確認

- (1) 壁下地を確認する。
 - ・取り付け部の強度が不足している場合は、補強する。
- (2) 製品を取り付ける床面はできる限り水平にする。壁面は床面に対して垂直に仕上げる。
 - ・床面、壁面に凹凸があったり、平面でないと、扉に段差が生じます。

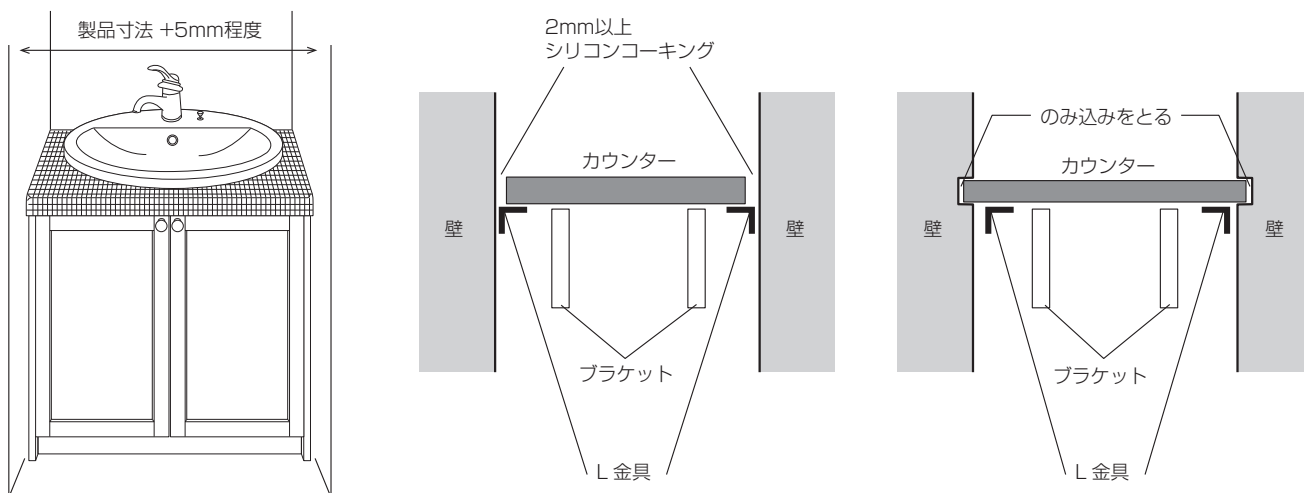
カウンターと固定金具の設置寸法

- ・横壁側は【L金具】でカウンターを固定します。
- ・ボウルの左右に1本づつ【ブラケット】を背壁側に設置します。
- ・カウンターの長さに応じて【ブラケット】を600mm以内に設置します。



両壁設置の確認

- ・両壁納めの場合は製品より有効スペースを5mm程度、広く確保してください。
- ・カウンターの伸縮を考慮し片側2mm以上のクリアランスを設けてください。本材は環境の変化により収縮膨張します。



取付・設置前の確認

⚠ 注意

○取り付け位置に下地材があるかを確認してください。

設置の確認

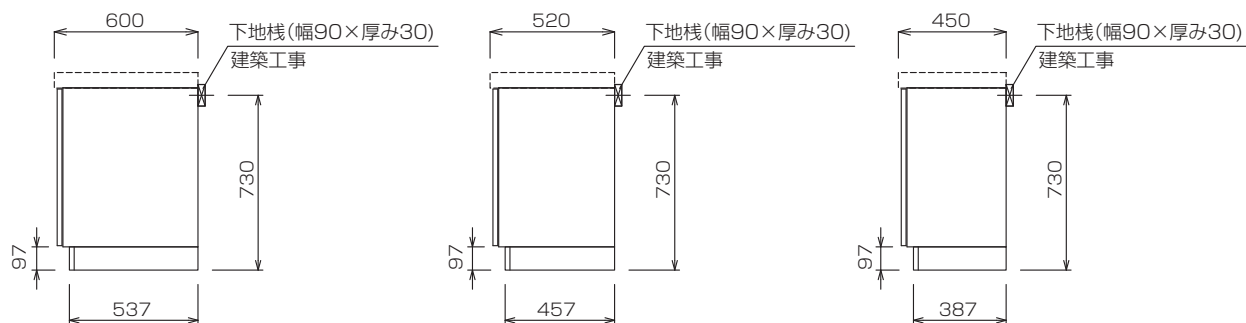
- (1) 壁下地を確認する。
 - ・取り付け部の強度が不足している場合は、補強する。
- (2) 製品を取り付ける床面はできる限り水平にする。壁面は床面に対して垂直に仕上げる。
 - ・床面、壁面に凹凸があったり、平面でないと、扉に段差が生じます。

キャビネットの設置寸法

●正面図



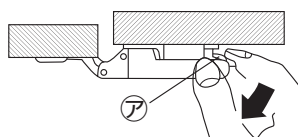
●側面図



部材を取り外す

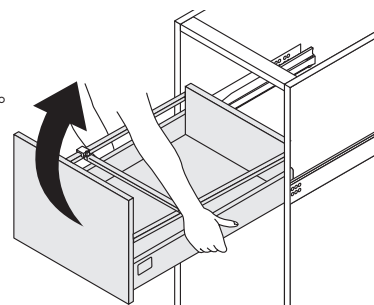
●開き扉の場合

- ・丁番の後方のレバー⑦をつまんで外す。



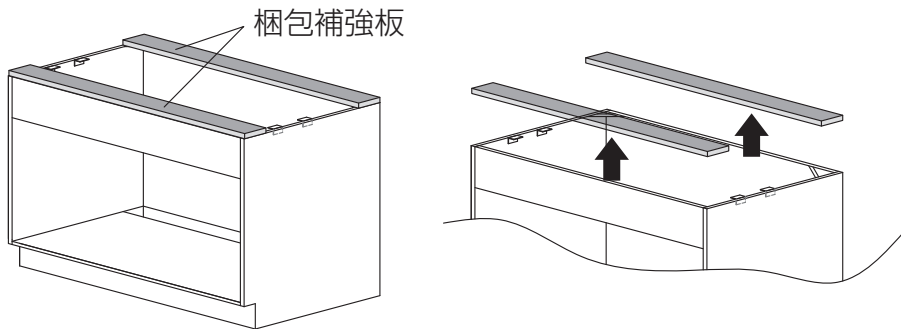
●引き出しの場合

- ①引き出しを手前に出します
- ②引き出しを上を持ち上げて引き抜きます。



キャビネットの取り付け

梱包補強板を取り外す



⚠ 注意

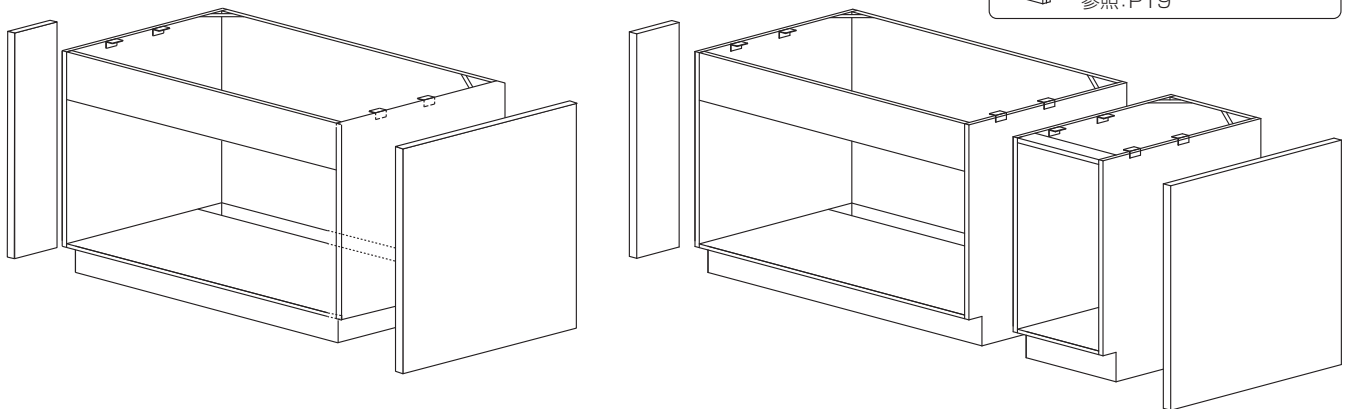
梱包補強板を取り外す際は、タッカー針に気をつけてください。ケガのおそれがあります。

パネル・フィラー・キャビネット同士の固定

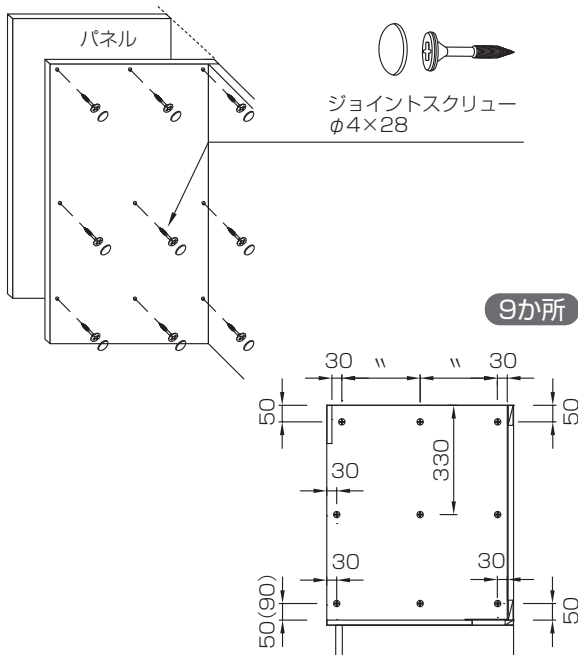
① 付属のジョイントスクリュー(連結ビス)でキャビネット内側からパネル・フィラー・キャビネット同士を固定します。



パネルに同梱しています、スベーター(MDF)はユニットタイプには使用しません。オープンタイプに使用する場合があります。参照:P19

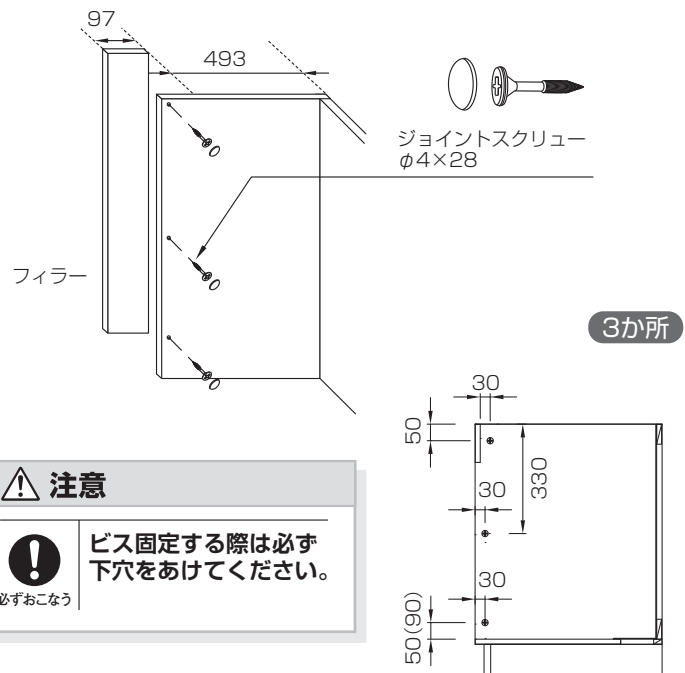


● パネル・キャビネットの固定



開き側の場合は1か所だけ()内数値になります。

● フィラーの固定



開き側の場合は1か所だけ()内数値になります。

⚠ 注意



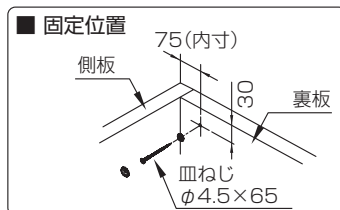
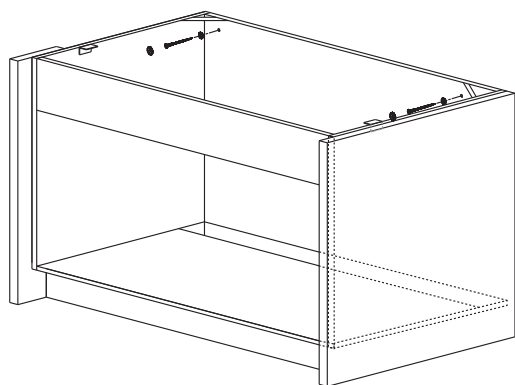
ビス固定する際は必ず下穴をあけてください。

必ずおこなう

キャビネットの壁面固定

- ①キャビネットを所定の位置に仮置きして確認する。
- ②皿ねじ(4.5×65)で、キャビネットを壁に固定する。

2か所



⚠ 注意

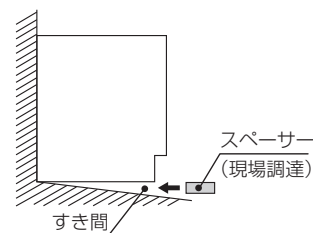


必ずおこなう

付属品のねじ(ビス)を使用する。
下穴をあけてから、ねじ(ビス)
固定をする。
壁下地厚や位置を確認する。

水平出し

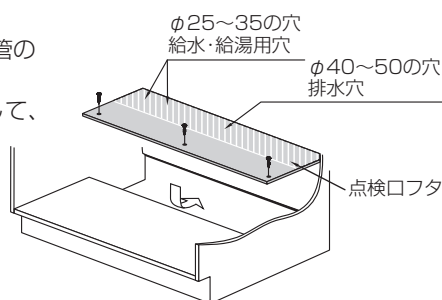
床の水平が出ていない場合は床と
フロアキャビネットの間に不陸調整
用スペーサーを入れてレベル調整
する。



給水管・排水管の穴あけ(現地合わせ)

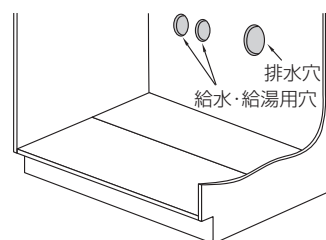
●配管床立ち上げの場合

- ①点検口フタに、給水給湯管および排水管の引き込み位置に合わせ穴をあける。
- ②点検口フタをキャビネットにセットして、ねじで固定する。



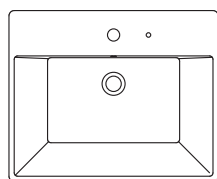
●配管壁出し場合

キャビネットの背板に穴をあける。

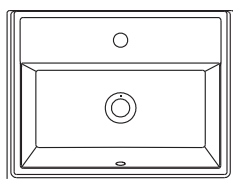


洗面ボウルの取り付け

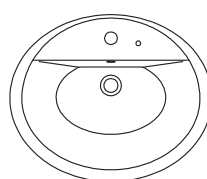
●C型陶器ボウル



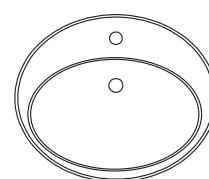
●X型陶器ボウル



●N型陶器ボウル

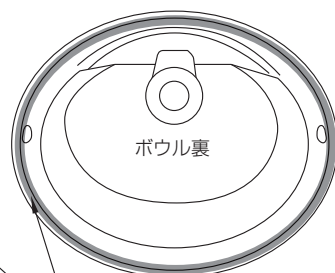
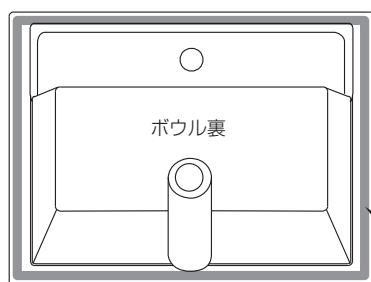


●F型陶器ボウル



- ①洗面ボウル裏の縁にブチルテープを貼り付けする。

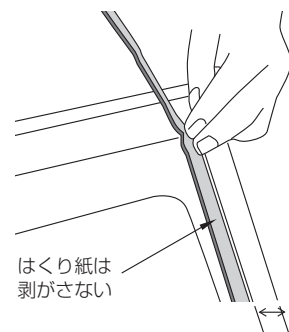
※ブチルテープのはくり紙は洗面ボウルの位置決めをしてから剥がしてください。



ブチルテープ全周貼り付け



ブチルテープ



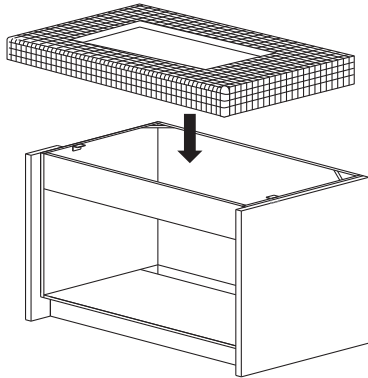
はくり紙は
剥がさない

C型陶器ボウル: 1ミリ程度
X型陶器ボウル: 8ミリ程度
N型陶器ボウル: 5ミリ程度
F型珪瑯ボウル: 3ミリ程度

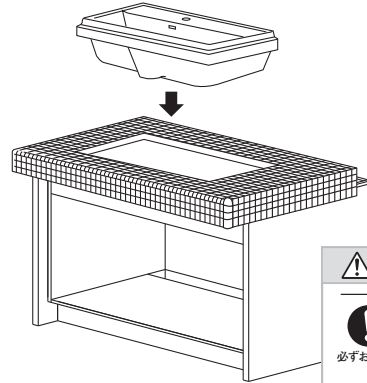
カウンター(タイル・人大)と洗面ボウルの取り付け

※図はタイルカウンターですが、人大カウンターも同じです。

- ①カウンターをキャビネットに仮置きする。
前にずらした状態にする。
④のコーキングをやりやすくするため。



- ②洗面ボウルを仮置きする。
位置決めをしたら、プチルテープのはくり紙を剥がす。



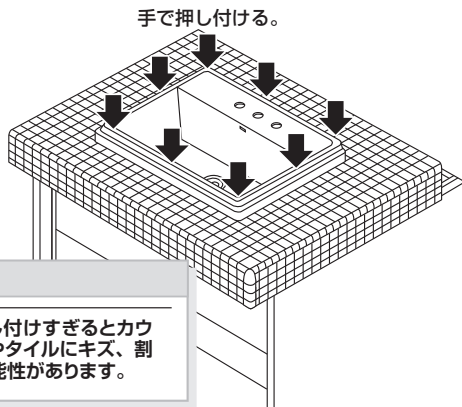
注意



洗面ボウル設置部の
タイルをアルコールで
清掃を行う。

必ずおこなう

- ③洗面ボウルを均等に手で押し付ける。
※プチルテープを潰して密着させるため。
ある程度潰しておかないと、設置後にシリコンシーリング剤が
はみ出てくる可能性があります。



手で押し付ける。

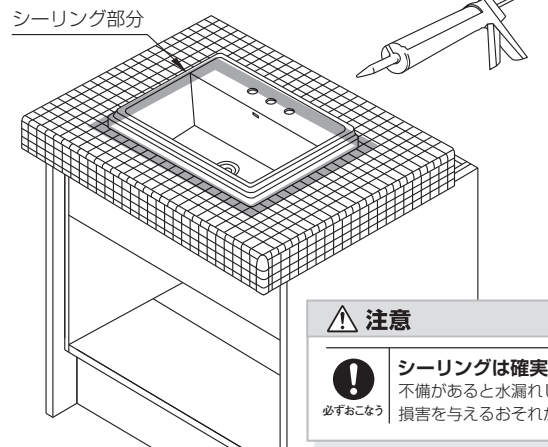
注意



強く押し付けすぎるとカウ
ンターやタイルにキズ、割
れの可能性があります。

必ずおこなう

- ④洗面ボウルの周りをシーリングする。
※シリコンシーリング剤は同梱品



シーリング部分

注意



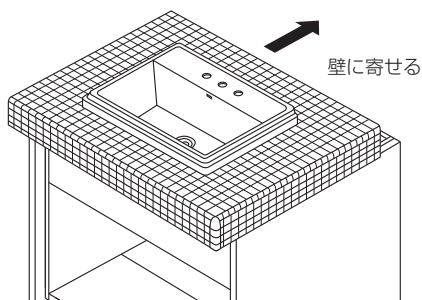
シーリングは確実に
行う。
不備があると水漏れし、家財に
損害を与えるおそれがあります。

必ずおこなう

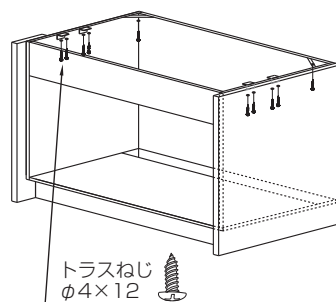
カウンターの固定

- ①キャビネット側の金具からカウンター裏にトラスねじ(4×12)で固定する。
※左右のカウンター突き出し量は均等にしてください。

●カウンターの場合



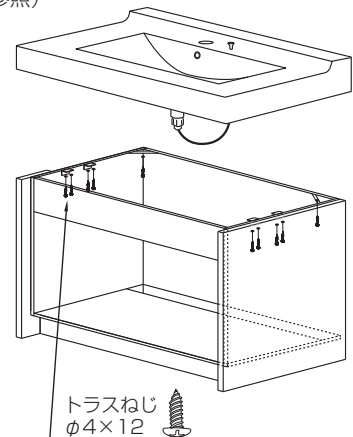
壁に寄せる



トラスねじ
φ4×12

●人大一体型カウンターボウルの場合

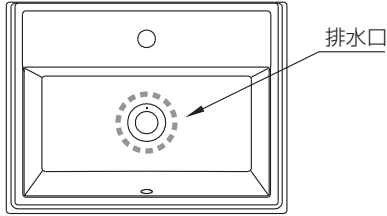
※カウンターを取り付ける前に排水栓を
先に取り付けてから実施してください。
(P14 参照)



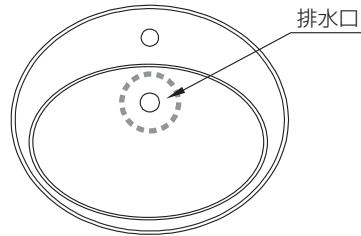
トラスねじ
φ4×12

排水金具と樹脂製排水トラップの取り付け

●X型陶器ボウル

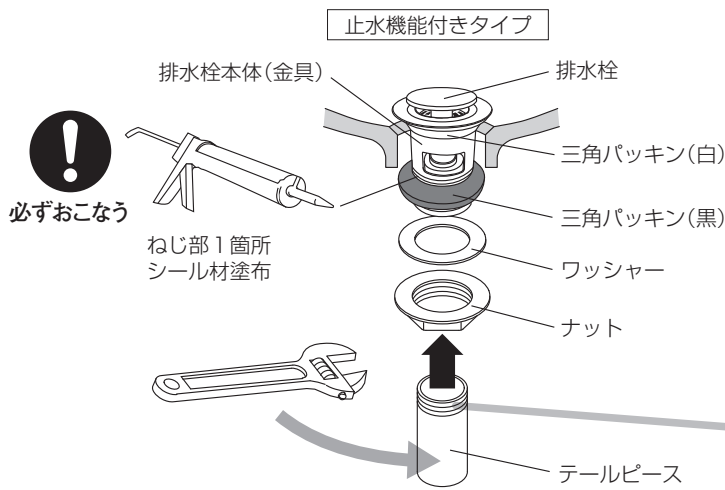


●F型珪瑯ボウル



①排水金具を取り付ける

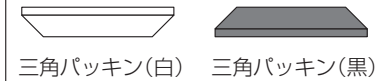
※ねじ山をつたって水漏れするおそれがあるので、1箇所シールをしてください。



⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。



ねじ部へのシール材(シリコンシーラント)塗布は確実に行うこと。

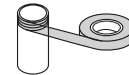
余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

⚠ 注意

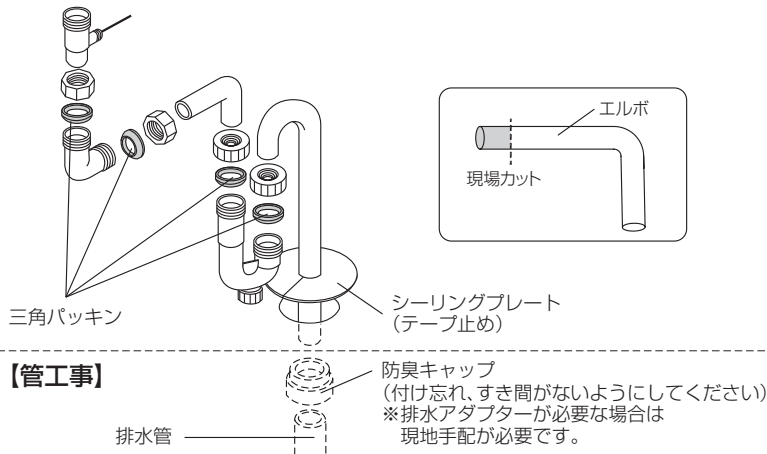


シールテープを巻く。

(現地調達)



②床排水の場合は、下記内容で排水トラップを取り付ける。



⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。



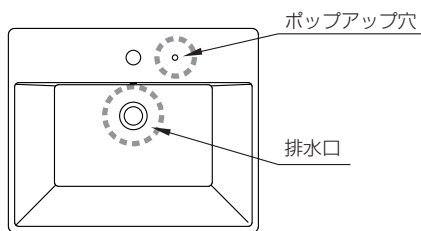
固定には工具などを使用しない。

樹脂部分などがわれるおそれがあります。ナットは手で確実に締めつけてください。

③管工事にて排水管に防臭キャップの取り付けと排水管との接続をする。

排水金具と樹脂製排水トラップの取り付け

●C型陶器ボウル



⚠ 注意

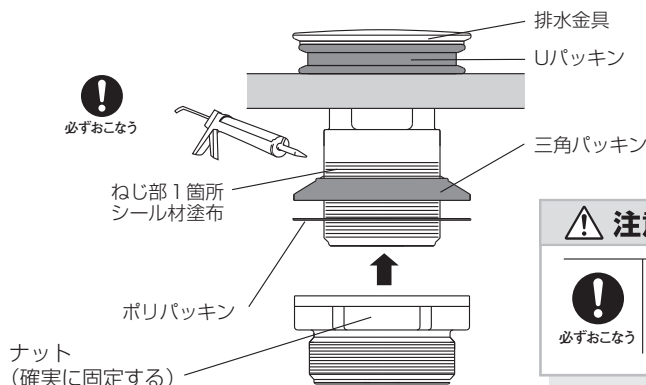


固定には工具などを使用しない。

樹脂部分などがわるおそれがあります。
ナットは手で確実に締めつけてください。

①排水金具を取り付ける。

※ねじ山をつたって水漏れするおそれがあるので、1箇所シールをしてください。



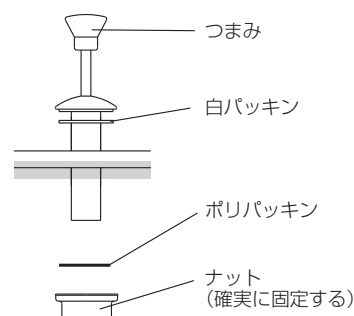
⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。

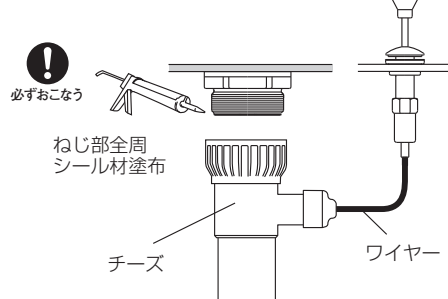
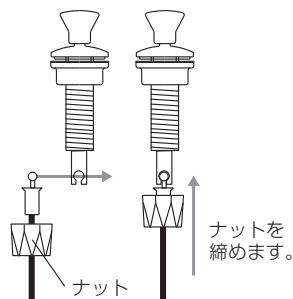
必ずおこなう

②ポップアップつまみを取り付けます。



③ワイヤーを取り付ける。

④チーズを取り付ける。



⚠ 注意



ねじ部へのシール材(シリコンシーラント)塗布は確実にすること。

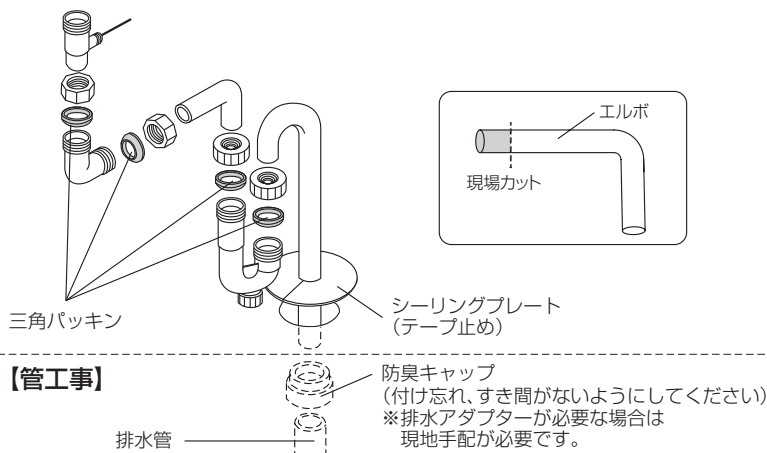
余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。



ワイヤーが水栓配管や止水栓、排水部品などに絡まないようにすること。

ポップアップの動作不良に繋がります。

⑤床排水の場合は、排水管に防臭キャップを取り付けてから、下記内容で排水トラップを取り付ける。



⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。

必ずおこなう



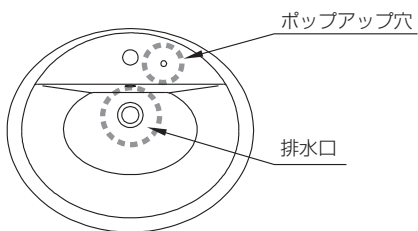
固定には工具などを使用しない。

樹脂部分などがわるおそれがあります。
ナットは手で確実に締めつけてください。

⑤管工事にて排水管に防臭キャップの取り付けと排水管との接続をする。

排水金具と樹脂製排水トラップの取り付け

●N型陶器ボウル



⚠ 注意

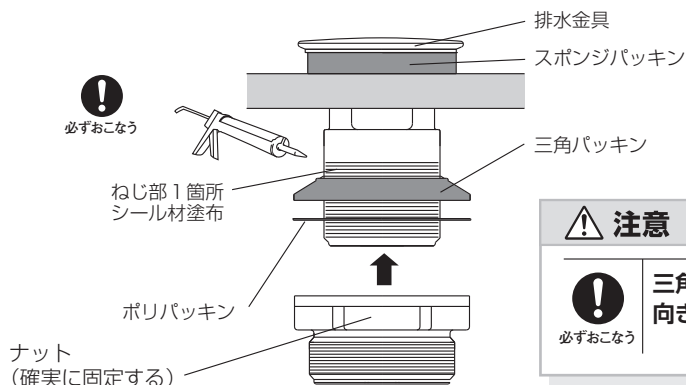


固定には工具などを使用しない。

樹脂部分などがわるおそれがあります。
ナットは手で確実に締めつけてください。

①排水金具を取り付ける。

※ねじ山をつたって水漏れするおそれがあるので、1箇所シールをしてください。



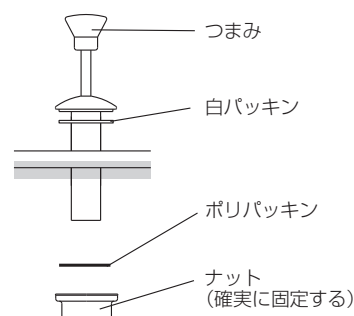
⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。

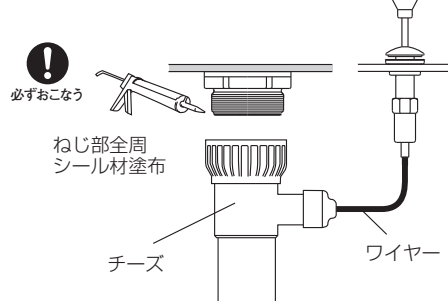
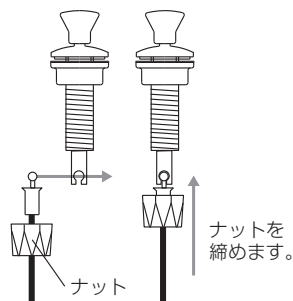
必ずおこなう

②ポップアップつまみを取り付ける。



③ワイヤーを取り付ける。

④チーズを取り付ける。



⚠ 注意



ねじ部へのシール材(シリコンシーラント)塗布は確実にすること。

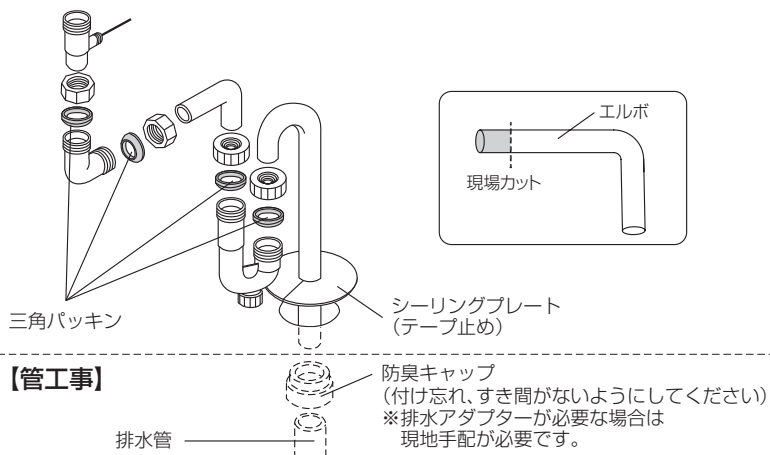
余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。



ワイヤーが水栓配管や止水栓、排水部品などに絡まないようにすること。

ポップアップの動作不良に繋がります。

⑤床排水の場合は、排水管に防臭キャップを取り付けてから、下記内容で排水トラップを取り付ける。



⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。

必ずおこなう



固定には工具などを使用しない。

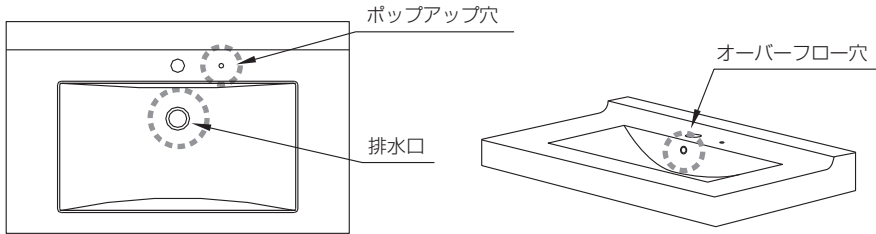
樹脂部分などがわるおそれがあります。
ナットは手で確実に締めつけてください。

禁止

⑤管工事にて排水管に防臭キャップの取り付けと排水管との接続をする。

排水金具と樹脂製排水トラップの取り付け

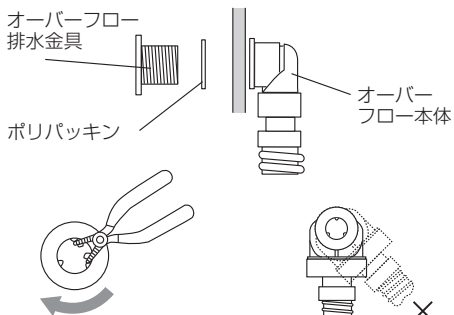
●人工大理石カウンター洗面ボウル



⚠ 注意

禁止 固定には工具などを使用しない。
樹脂部分などがわるおそれがあります。
ナットは手で確実に締めつけてください。

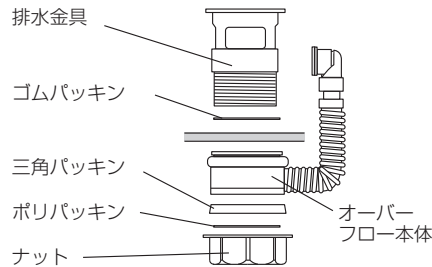
①オーバーフローを取り付ける。



手締めした後にペンチにビニールテープや布を巻きつけて傷がつかないように保護をして、締めつけてください。

オーバーフロー本体を斜めに取り付けしないでください。

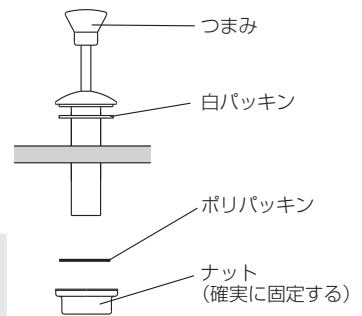
②排水金具を取り付ける。



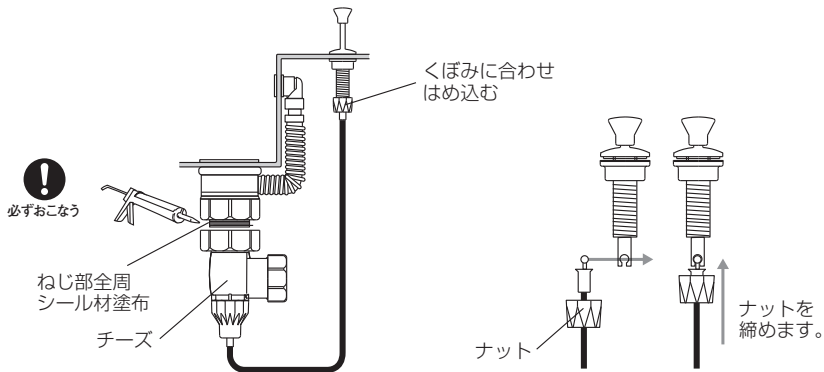
⚠ 注意

必ずおこなう 三角パッキンの向きを確認する。

③ポップアップつまみを取り付ける。



④チーズとワイヤーを取り付ける。

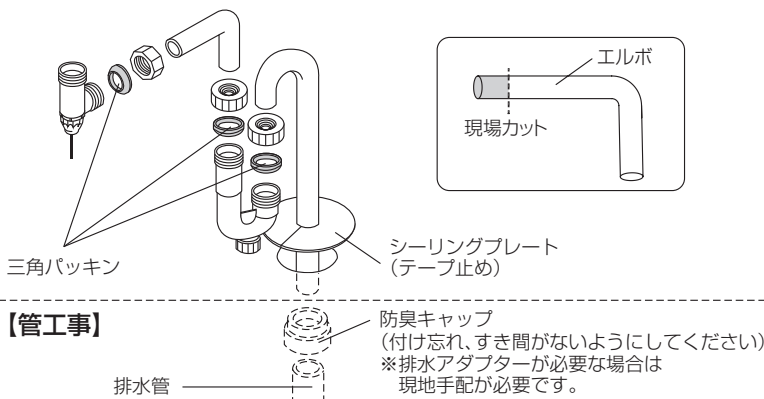


⚠ 注意

必ずおこなう ねじ部へのシール材(シリコンシーラント)塗布は確実にすること。
余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

必ずおこなう ワイヤーが水栓配管や止水栓、排水部品などに絡まないようにすること。
ポップアップの動作不良に繋がります。

⑤床排水の場合は、排水管に防臭キャップを取り付けてから、下記内容で排水トラップを取り付ける。



⚠ 注意

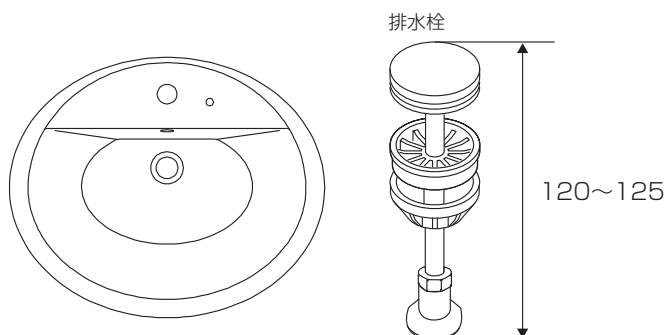
必ずおこなう 三角パッキンの向きを確認する。

禁止 固定には工具などを使用しない。
樹脂部分などがわるおそれがあります。
ナットは手で確実に締めつけてください。

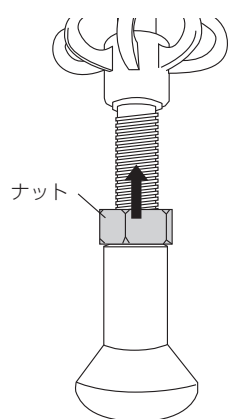
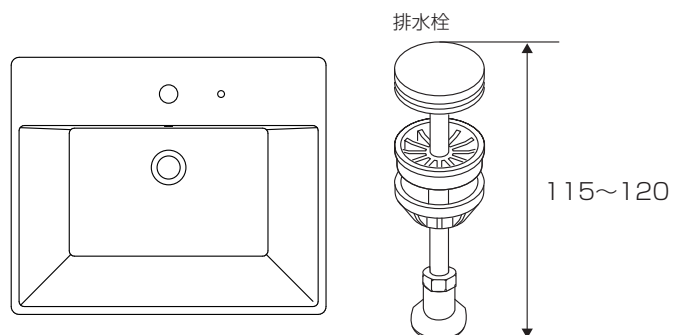
⑥管工事にて排水管に防臭キャップの取り付けと排水管との接続をする。

排水栓の調整

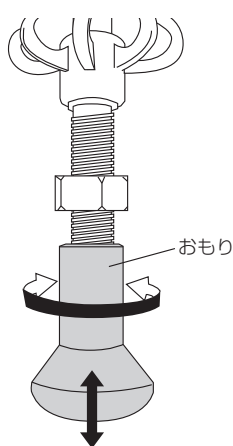
●N型陶器ボウル



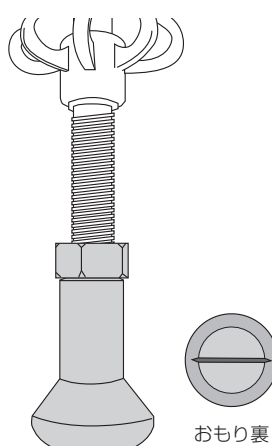
●C型陶器ボウル



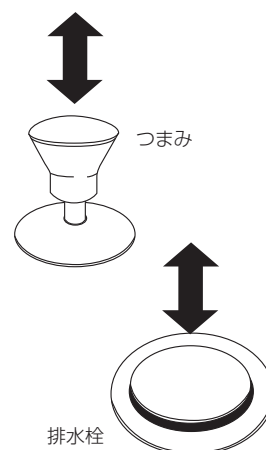
①ナットを緩めてください。



②おもりを回して長さを調整してください。

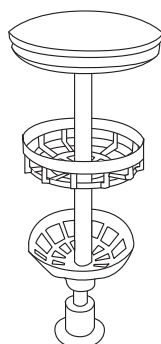
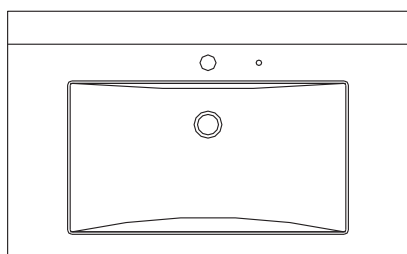


③おもり裏にマイナスドライバーを使用して、ナットとおもりを固定してください。



④ボウルの排水口にセットしてからつまみを押し、排水栓の開閉を確認してください。

●人工大理石カウンター洗面ボウル

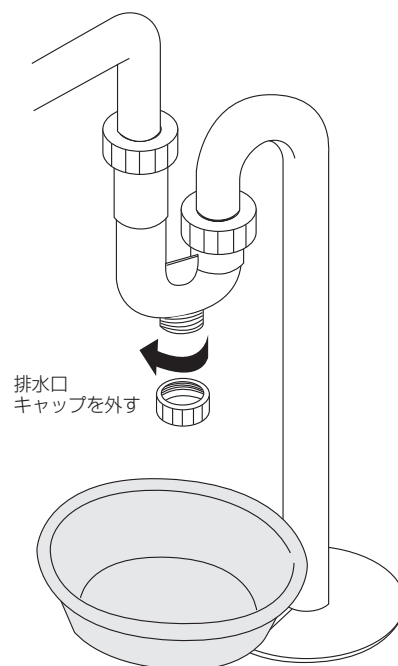
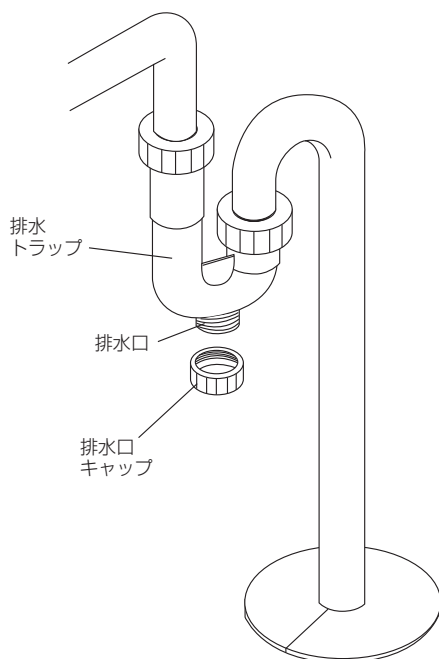


⚠ 注意

排水栓の長さ調整は必要ありません。
そのまま排水口にセットしてください。

樹脂製排水トラップ

- 凍結のおそれがある場合や掃除などで、水や異物の排出のために排水トラップに排水口を設けております。



- ① 排水トラップの下に水を受ける容器を置き、排水口キャップを手で回して取り外します。
- ② 排水トラップから水、異物を取り除きます。
- ③ 排水口キャップを確実に手で締め付けてください。水漏れ確認とトラップに水を溜めるため(封水)、10～20秒水を流してください。

⚠ 使用上の注意



必ずおこなう

排水口キャップを取り付け後、水漏れが無い確認をする。
水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。



禁止

固定には工具などを使用しない。
樹脂部分などが割れるおそれがあります。ナットは手で確実に締めつけてください。

⚠ 警告

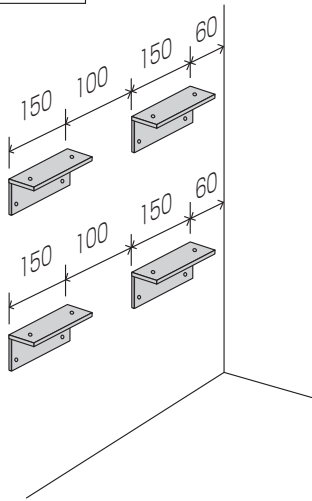
- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とねじで固定してください。

L 金具の取り付け

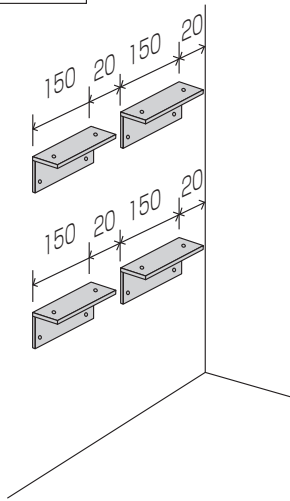
●横壁

- ①カウンターの高さを決定して、L 金具の固定位置に下穴をあける。
- ②L 金具をねじで固定する。

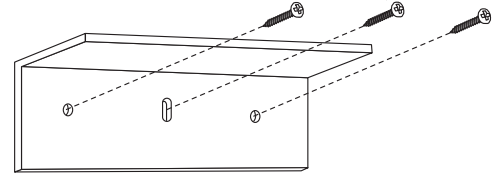
D600



D450



トラスねじ (4×65)

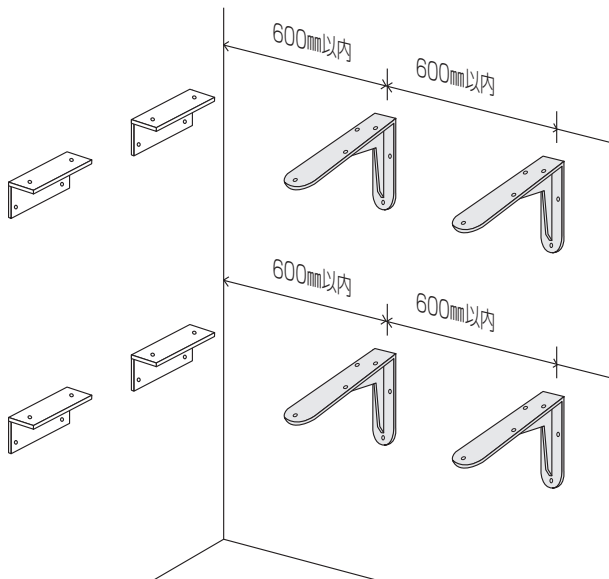


上側は洗面カウンター
下側はアンダーカウンター

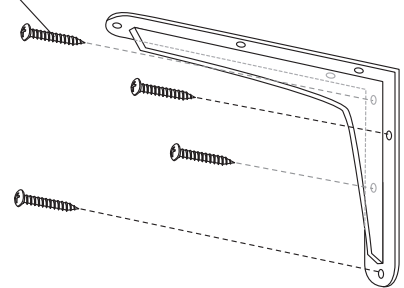
ブラケットの取り付け

●背面側の壁

- ①カウンターの高さを決定して、ブラケットの固定位置に下穴をあける。
- ②ブラケットをねじで固定する。



なべ頭ねじ (5×45)



上側は洗面カウンター
下側はアンダーカウンター

⚠ 注意

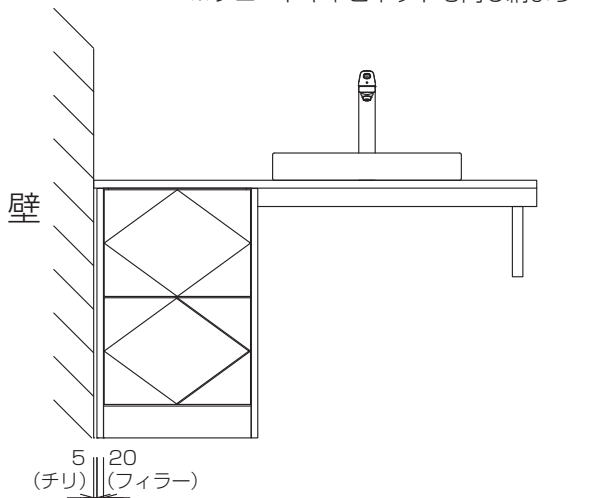
- 無垢の木の室内環境の影響で反ったり戻ったりを繰り返し、毎日わずかに動き続けます。よって、下記内容の通り、カウンターとキャビネット(パネル・フィラー)の間に『チリ(クリアランス)』を設けてください。

カウンターとキャビネットの納まり

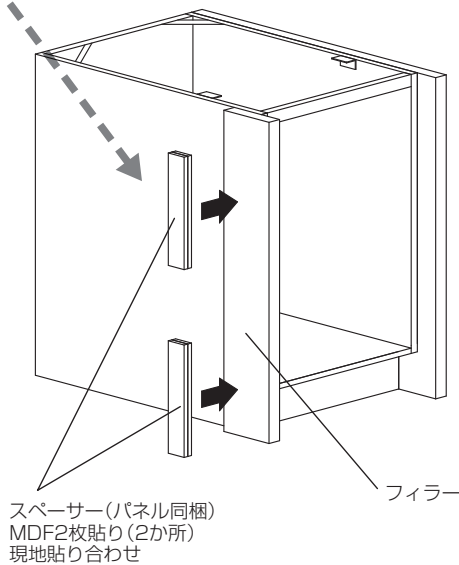
●壁側にキャビネットを設置する場合

- ・壁とフィラーの間に『5ミリのチリ』を空けます。
- ・シーリングでチリを埋めます。

※フロートキャビネットも同じ納まり



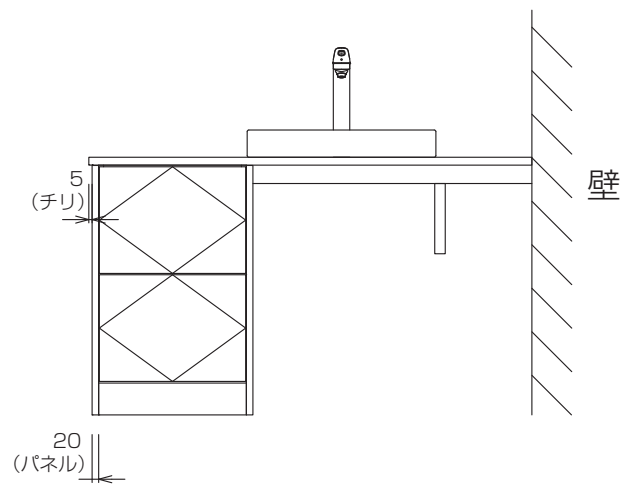
チリ5ミリはスペーサーを使用



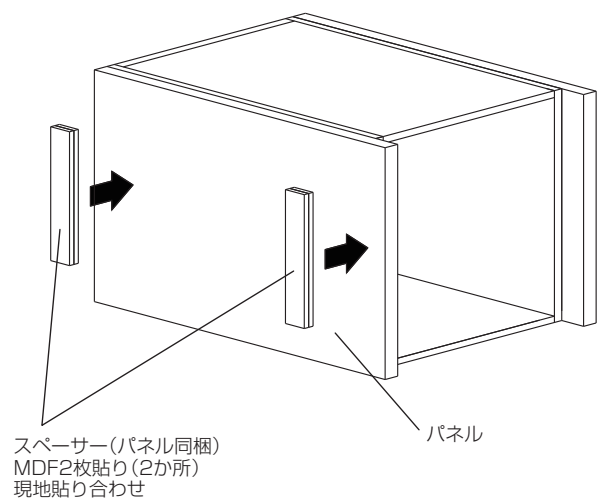
●オープン側にキャビネットを設置する場合

- ・カウンターとパネルの間に『5ミリのチリ』を空けます。

※フロートキャビネットも同じ納まり



フロートキャビネット



スペーサー(パネル同梱)2枚(2.5t×2)を両面テープで貼り合わせて、約5ミリの厚みにします。それをフィラーに両面テープで貼りつける。
※両面テープは現地調達

警告



- 取り付け位置に下地材があるかを確認してください。
- 必ず下穴をあけてから、付属の金具とねじで固定してください。

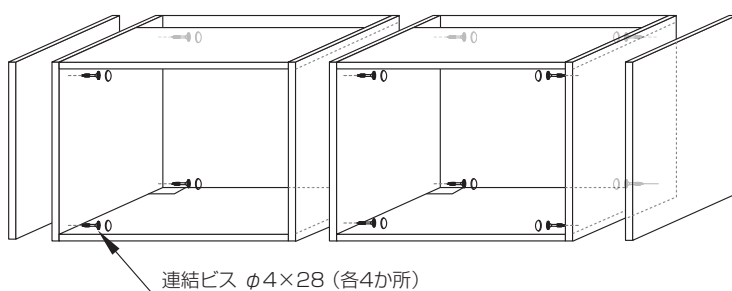
床置きキャビネットの取り付け

- P9・P10をご確認ください。

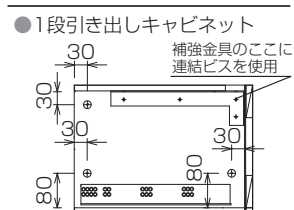
フロートキャビネットの取り付け

- ①側板に下穴をあけてから隣接するキャビネットの前面を合わせながら連結ビスで固定する。
- ②連結したキャビネットとパネルの後、下を合わせて連結ビスで固定する。

※パネルの表示シールに従い取り付ける。

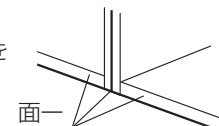


連結ビス位置〈側面〉



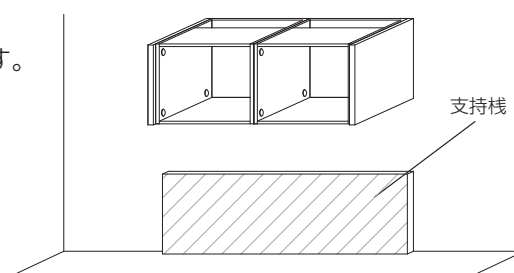
キャビネットの連結

隣接するキャビネットの面を合わせて固定する。

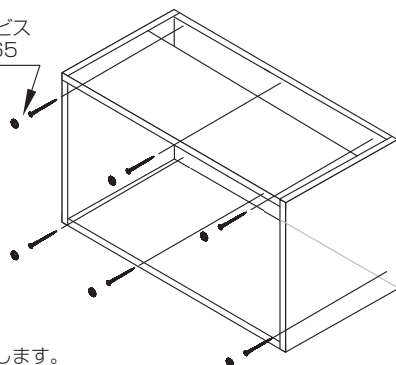


- ③キャビネットを壁面に壁面固定ビスにて固定する。

- 支持棧を現地でご用意していただくと、壁面固定がしやすいです。
(巾木が設置済みの場所では支持棧が使いづらいかもしれません)

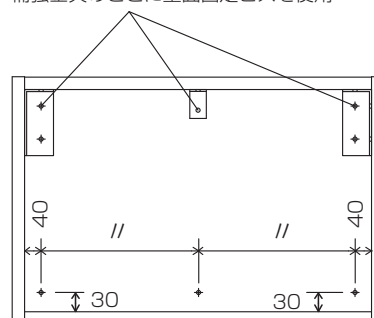


壁面固定ビス
φ4.5×65



〈正面〉

補強金具のここに壁面固定ビスを使用

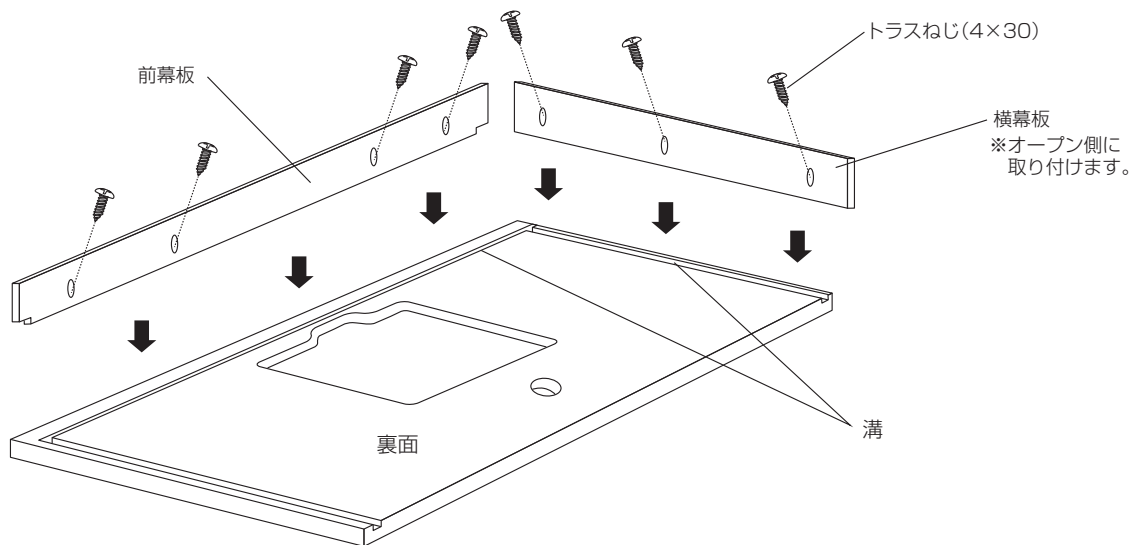


⚠ 注意

- 木材塗装部にアルコール・シンナーなどの薬品を付着させないでください。塗膜が変色したりツヤが変化するおそれがあります。
- 必ず下穴をあけてから、付属のねじで固定してください。

幕板の取り付け ※幕板が付くタイプ

①カウンターの裏の溝に幕板を取り付ける。

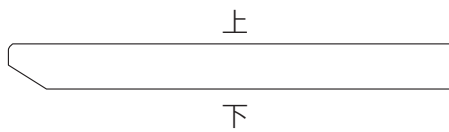


⚠ 注意

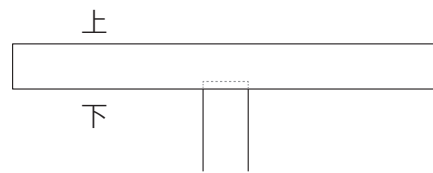
- 木材塗装部にアルコール・シンナーなどの薬品を付着させないでください。塗膜が変色したりツヤが変化するおそれがあります。
- 必ず下穴をあけてから、付属のねじで固定してください。

カウンターの取り付け

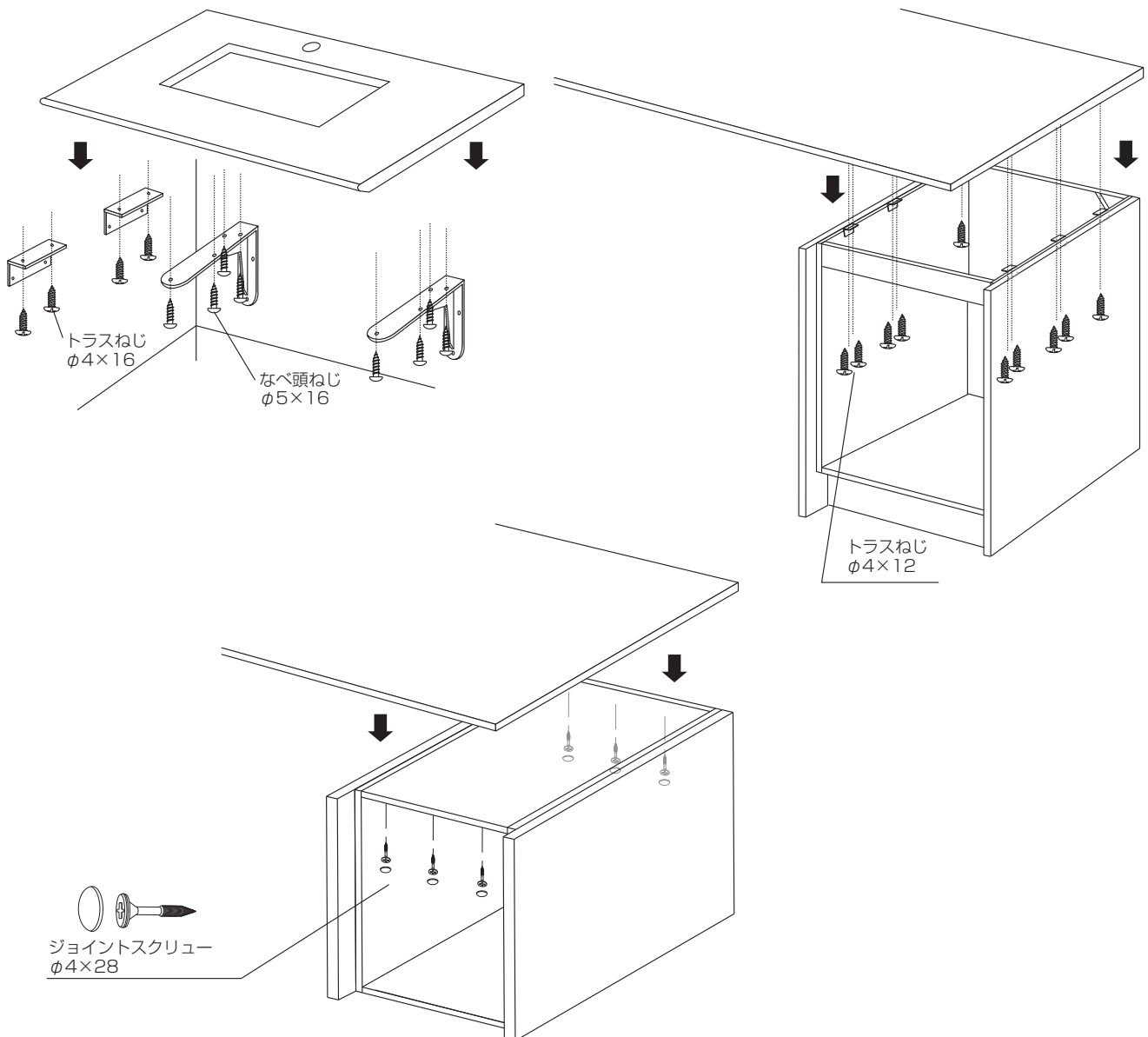
●船型カウンター形状



●糸面カウンター形状



①固定金具やキャビネットの上にカウンターを載せて固定する。



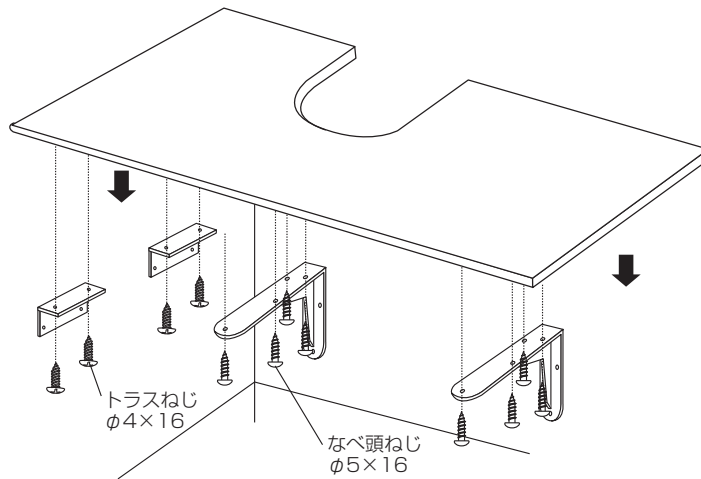
⚠ 注意

- 木材塗装部にアルコール・シンナーなどの薬品を付着させないでください。塗膜が変色したりツヤが変化するおそれがあります。
- 必ず下穴をあけてから、付属のねじで固定してください。

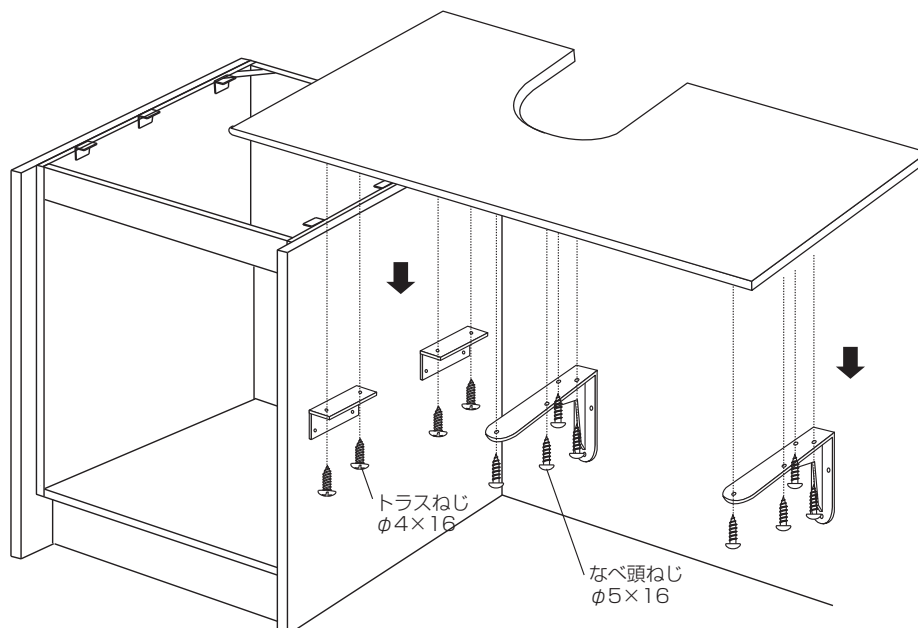
アンダーカウンターの取り付け

- ①固定金具にアンダーカウンターを載せて固定する。

●壁に取り付ける場合



●キャビネットに取り付ける場合

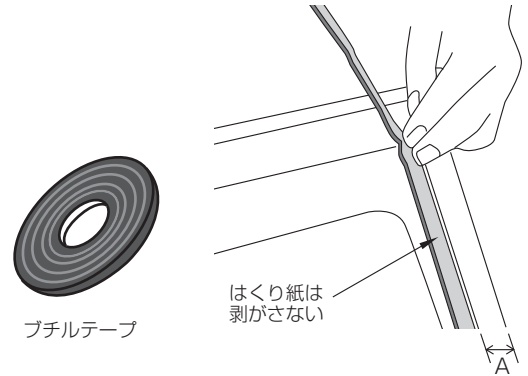
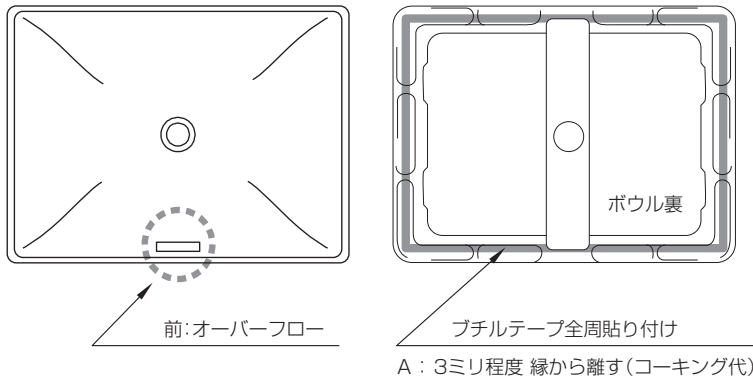


V型・N型洗面ボウルの取り付け

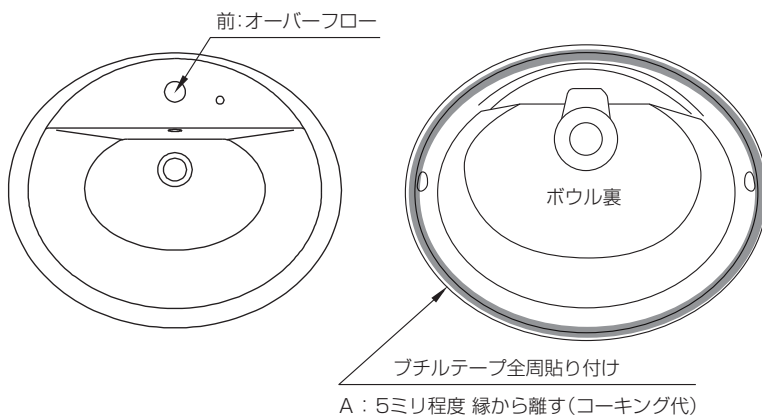
- ①カウンターの洗面ボウルの開口部をアルコールで清掃する。
- ②洗面ボウル裏の縁にブチルテープを貼り付けする。

※ブチルテープのはくり紙は洗面ボウルの位置決めをしてから剥がしてください。

●V型陶器ボウル



●N型陶器ボウル



⚠ 注意



必ずおこなう

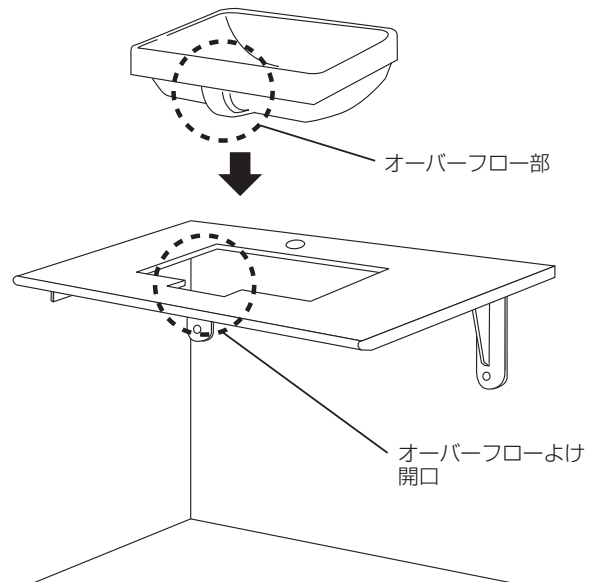
ブチルテープは洗面ボウルの縁より内側に貼付けてください。

- ③カウンターに洗面ボウルを仮設置し、位置決めをする。
- ④位置決めができたならブチルテープのはくり紙を剥がす。

※洗面ボウルを少し浮かしながらおこなうと剥がしやすいです。その時に洗面ボウルの位置がずれないように気をつけてください。

⚠ 注意

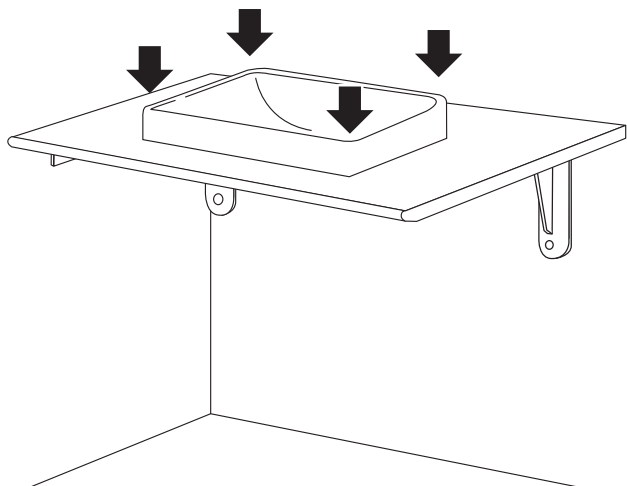
V型ボウルはオーバーフロー部は手前になります。



V型・N型洗面ボウルの取り付け

- ⑤洗面ボウルを均等に手で押し付けます。
※ブチルテープを潰してカウンターに密着させます。

手で押し付ける。



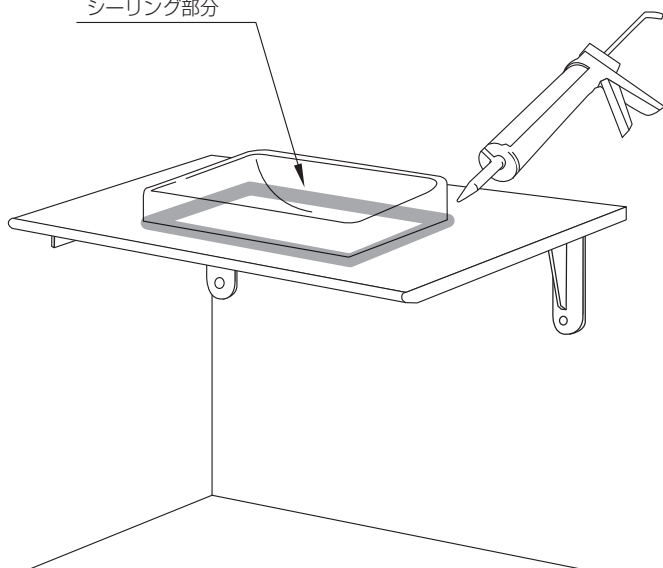
※N型陶器ボウルも同様です。

注意

ブチルテープをある程度潰しておかないと、設置後にシリコンコーキング剤がはみ出てくる可能性があります。

- ⑥洗面ボウルの周りをシーリングする。

シーリング部分



※N型陶器ボウルも同様です。

注意

シリコンコーキング剤は防かび剤入りを使用する。

注意

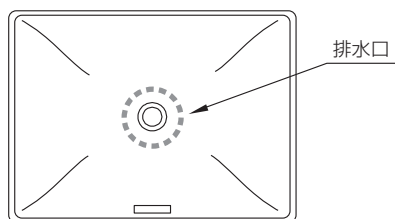


シーリングは確実にを行う。
不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

- ⑦洗面ボウル以外のシーリング（カウンターなどは）P34参照

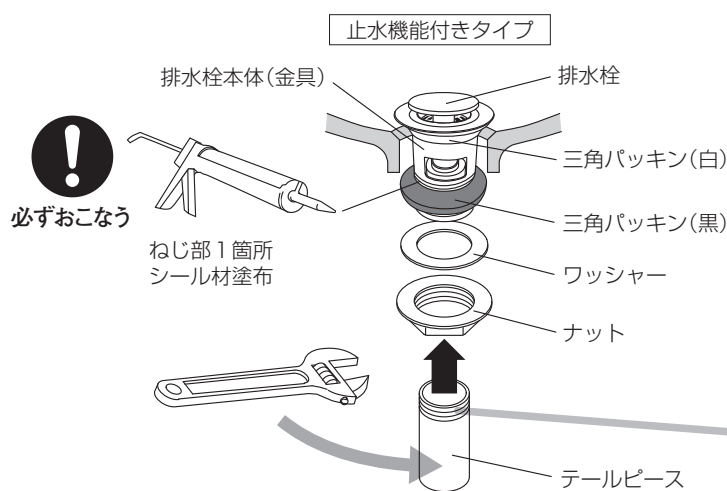
V型洗面ボウルの排水金具と金属製排水トラップの取り付け

●V型陶器ボウル



①排水金具を取り付ける

※ねじ山をつたって水漏れするおそれがあるので、1箇所シールをしてください。



⚠ 注意



三角パッキンの向きを確認する。



ねじ部へのシール材(シリコーンシーラント)塗布は確実にすること。

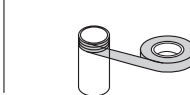
余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

⚠ 注意



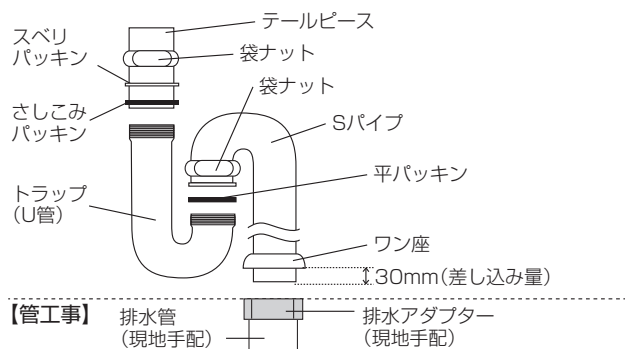
シールテープを巻く。

(現地調達)

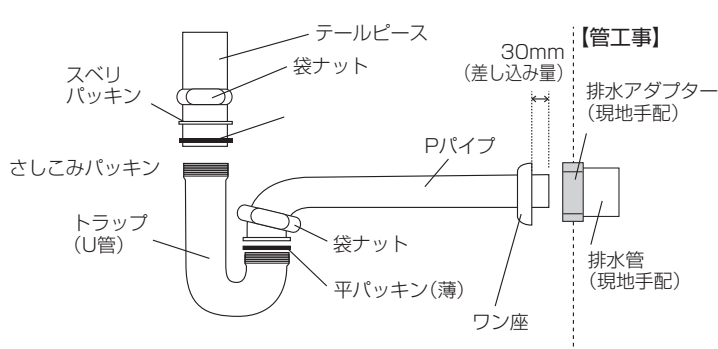


②金属製排水トラップを取り付ける。

●床排水の場合 (Sトラップ)



●壁排水の場合 (Pトラップ)

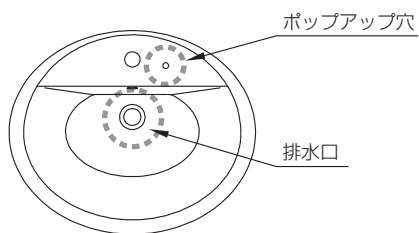


●排水トラップを仮付けして、排水管との差し込みしろを約30mmに残してカットする。

③管工事にて排水管に排水アダプターの取り付けと排水管との接続をする。

N型洗面ボウルの排水金具と金属製排水トラップの取り付け

●N型陶器ボウル



⚠ 注意

⚠ **三角パッキンの向きを確認する。**

必ずおこなう

⚠ 注意

⚠ **ねじ部へのシール材(シリコンシーラント)塗布は確実にすること。**

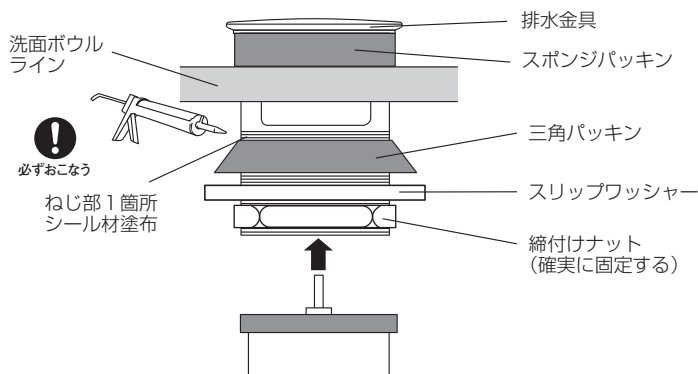
必ずおこなう
余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

⚠ **ワイヤーが水栓配管や止水栓、排水部品などに絡まないようにすること。**

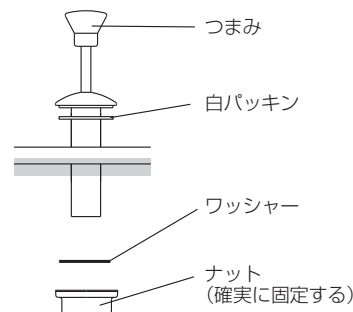
必ずおこなう
ポップアップの動作不良に繋がります。

①排水金具を取り付ける。

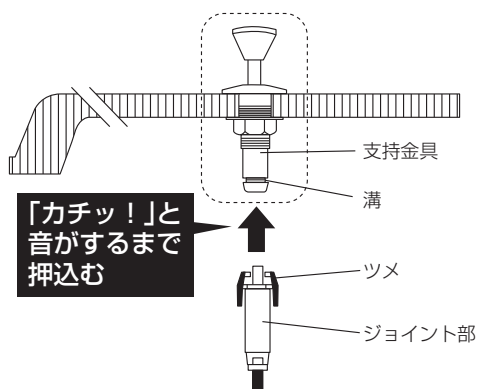
※ねじ山をつたって水漏れするおそれがあるので、1箇所シールをしてください。



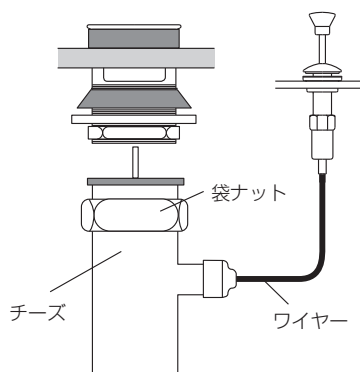
②ポップアップつまみを取り付ける。



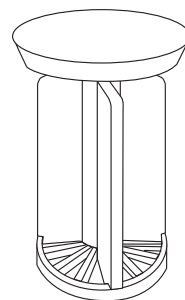
③ワイヤーを取り付ける。



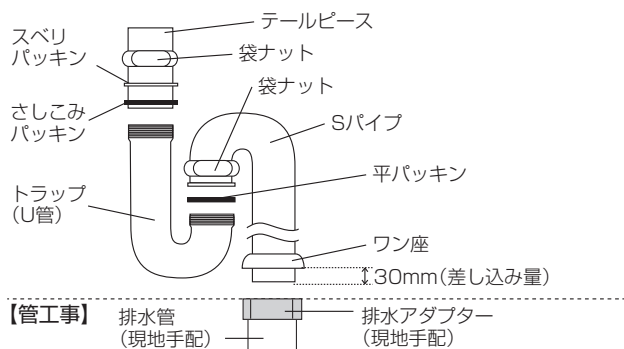
④チーズを取り付ける。



⑤排水弁を排水口にセットする。

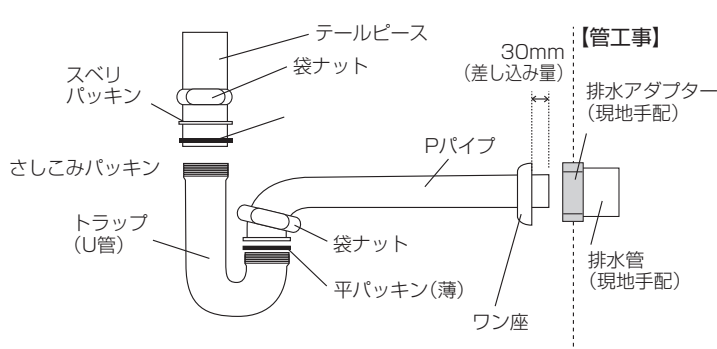


●床排水の場合 (Sトラップ)



【管工事】 排水管 (現地手配) 排水アダプター (現地手配)

●壁排水の場合 (Pトラップ)



【管工事】 排水アダプター (現地手配) 排水管 (現地手配)

●排水トラップを仮付けして、排水管との差込みしろを約30mmに残してカットする。

⑤管工事にて排水管に排水アダプターの取り付けと排水管との接続をする。

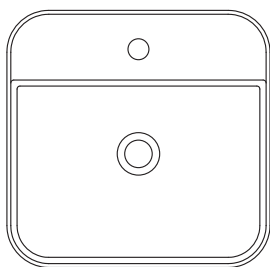
G型・T型洗面ボウルの取り付け

①カウンターの洗面ボウルの開口部をアルコールで清掃する。

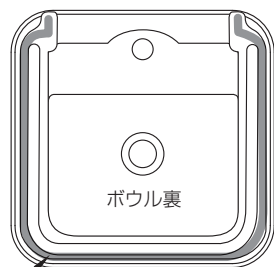
②洗面ボウル裏の縁にプチルテープを貼り付けする。

※プチルテープのはくり紙は洗面ボウルの位置決めをしてから剥がしてください。

●G型陶器ボウル



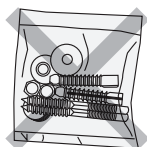
オーバーフローなし



ボウル裏

プチルテープ全周貼り付け

A : 5ミリ程度 縁から離す(コーキング代)



使用しません



ボウル裏面(壁側)

⚠ 注意

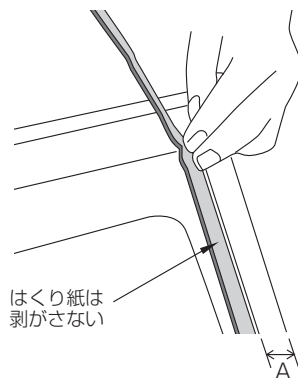


必ずおこなう

プチルテープは洗面ボウルの縁より内側に貼付けてください。



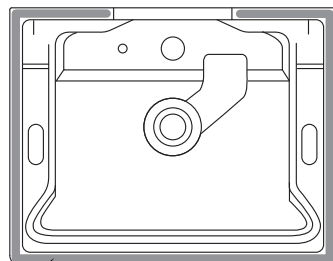
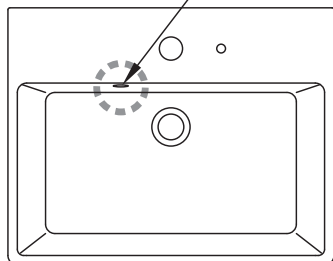
プチルテープ



はくり紙は剥がさない

●T型陶器ボウル

後:オーバーフロー

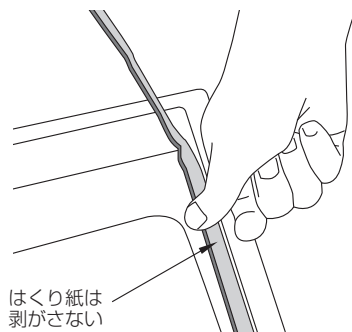


プチルテープ全周貼り付け

A : 5ミリ程度 縁から離す(コーキング代)



ボウル裏面(壁側)

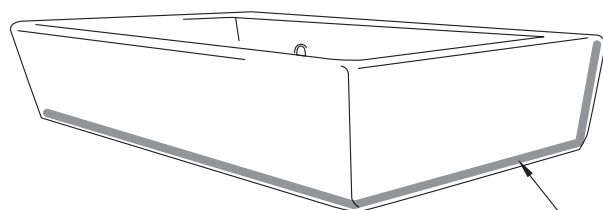


はくり紙は剥がさない

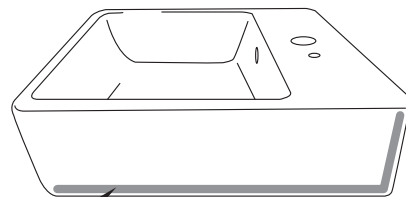
プチルテープを貼った後に手で軽く押しつぶします。コーキング後にボウルの自重でプチルテープがつぶれて、コーキングがはみ出てこないようにします。
(カウンタータイプのみ)

③ボウルにマスキングテープを貼る

カウンター設置前に、ボウル側にマスキングテープを貼っておいた方が、最後のカウンター・壁とのコーキングがしやすいです。



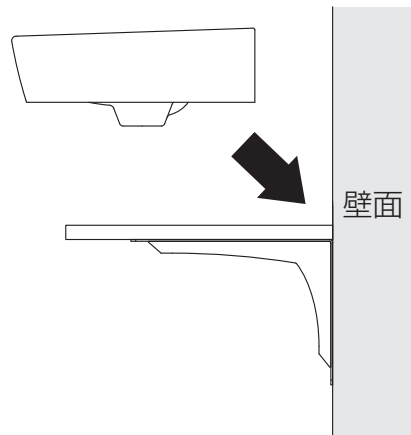
マスキングテープ(現場調達)



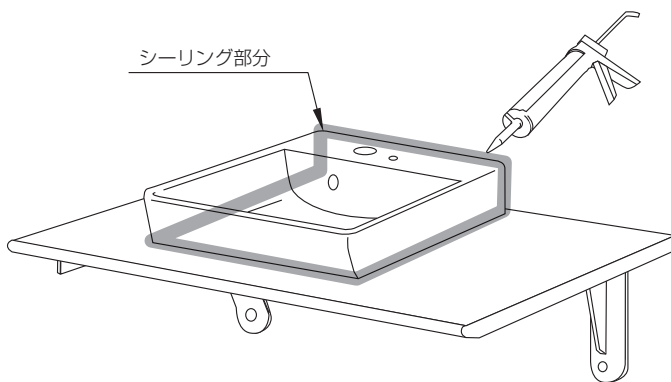
G型・T型洗面ボウルの取り付け

- ④カウンターに洗面ボウルを仮設置し、位置決めをする。
- ⑤位置決めができたらずチルテープのはくり紙を剥がす。
※洗面ボウルを少し浮かしながらおこなうと剥がしやすいです。その時に洗面ボウルの位置がずれないように気をつけてください。

ボウルを壁とカウンターに設置します



- ⑥洗面ボウルの周りをシーリングする。



⚠ 注意

シリコンコーキング剤は防かび剤入りを使用する。

⚠ 注意

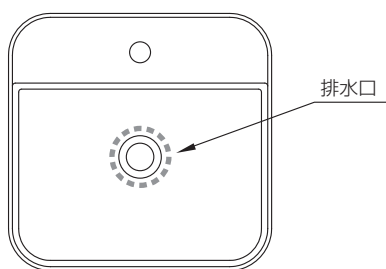


シーリングは確実に
不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

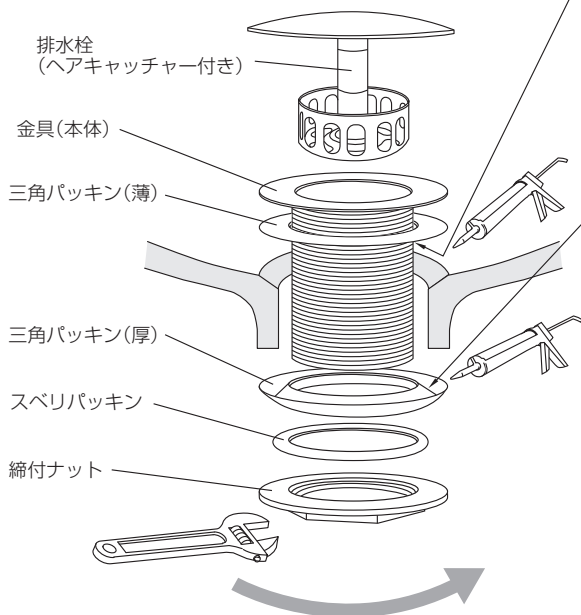
- ⑦洗面ボウル以外のシーリング（カウンターなど）は P34参照

G型洗面ボウルの排水金具と金属製排水トラップの取り付け

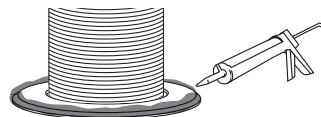
●G型陶器ボウル



①排水金具を取り付ける。



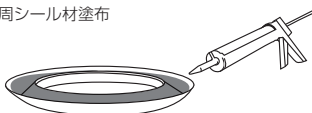
❗ 必ずおこなう
三角パッキン(薄)裏側の縁に
全周シール材塗布



❗ 必ずおこなう
締め付け後に、はみ出た
シール材をふき取る



❗ 必ずおこなう
三角パッキン(厚)のパッキン溝部
全周シール材塗布



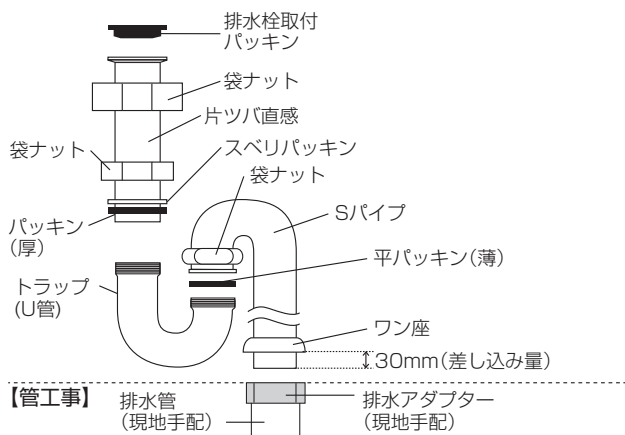
⚠ 注意

❗ 必ずおこなう
三角パッキンの向きを確認する。

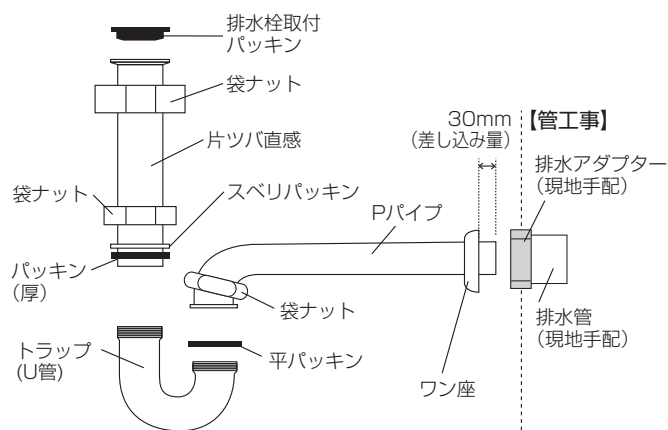
❗ 必ずおこなう
シール材(シリコンシーラント)
塗布は確実にすること。
余分なシール材を拭き取ってください。不備が
あると水漏れし、家財に損害を与えるおそれ
があります。

③金属製排水トラップを取り付ける。

●床排水の場合 (Sトラップ)



●壁排水の場合 (Pトラップ)

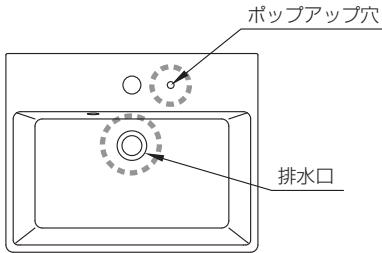


●排水トラップを仮付けして、排水管との差込みしろを約30mmに残してカットする。

④管工事にて排水管に排水アダプターの取り付けと排水管との接続をする。

T型洗面ボウルの排水金具と金属製排水トラップの取り付け

●T型陶器ボウル



⚠ 注意

⚠ 三角パッキンの向きを確認する。

必ずおこなう

⚠ 注意

⚠ 必ずおこなう

ねじ部へのシール材(シリコンシーラント)塗布は確実にすること。

余分なシール材を拭き取ってください。不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

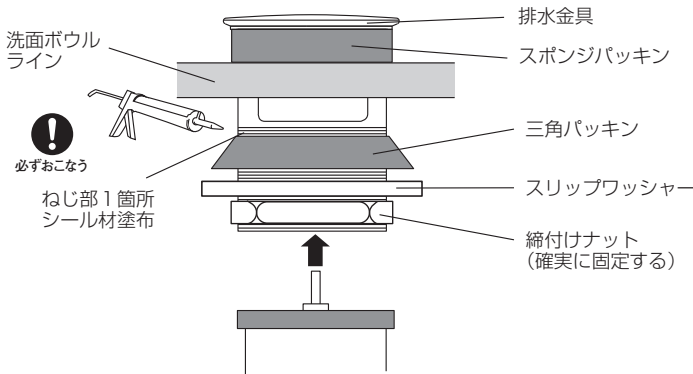
⚠ 必ずおこなう

ワイヤーが水栓配管や止水栓、排水部品などに絡まないようにすること。

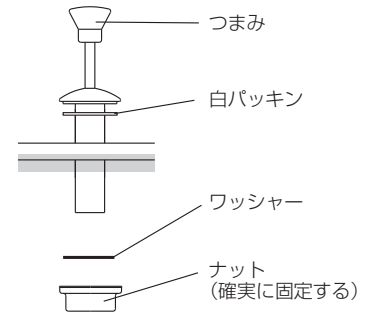
ポップアップの動作不良に繋がります。

①排水栓を排水口に取り付ける。

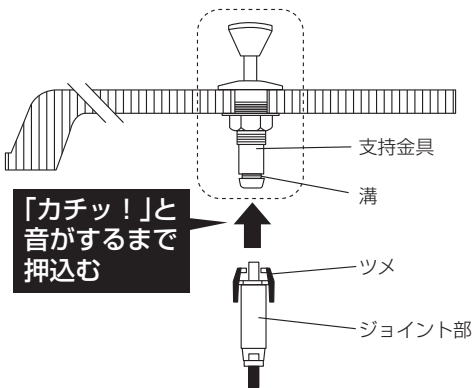
※ねじ山をつたって水漏れするおそれがあるので、1箇所シールをしてください。



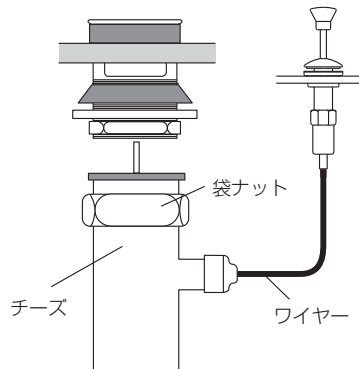
②ポップアップつまみを取り付ける。



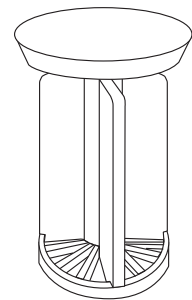
③ワイヤーを取り付ける。



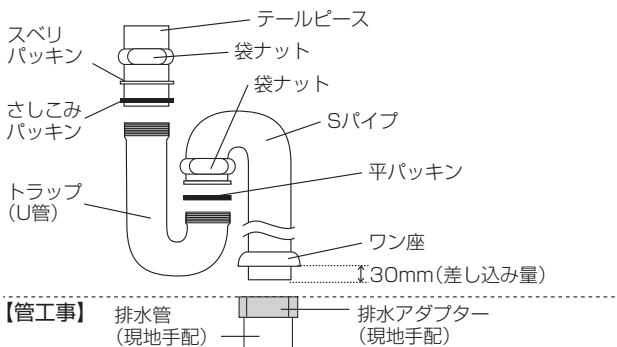
④チーズを取り付ける。



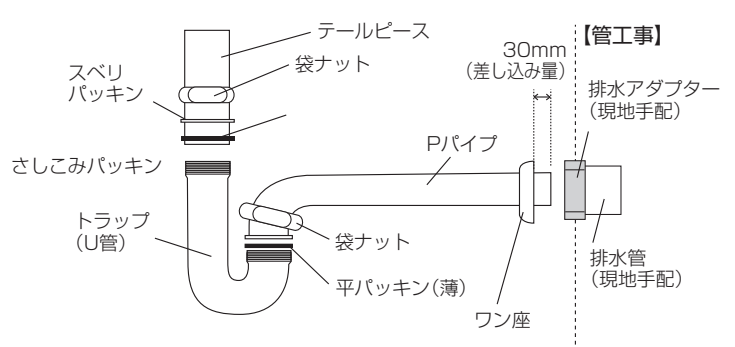
⑤排水弁を排水口にセットする。



●床排水の場合 (Sトラップ)



●壁排水の場合 (Pトラップ)



●排水トラップを仮付けして、排水管との差込みしろを約30mmに残してカットする。

⑤管工事にて排水管に排水アダプターの取り付けと排水管との接続をする。

開き扉の取り外しと取り付け・調整方法

警告



必ずおこなう

取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。
使用中に落下してけがをするおそれがあります。

注意



必ずおこなう

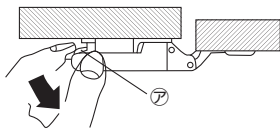
調整はハンドドライバーを使用してください。
電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

開き扉の取り外しと取り付け

※ソフトクローズ金具が付いている場合は、あらかじめ取り外しておく必要があります。

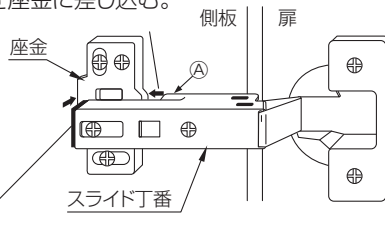
●取り外し方

・丁番の後方のレバー⑦をつまんで外す。

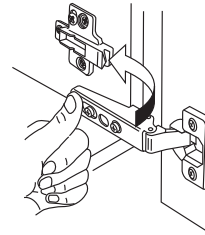


●取り付け方

①Aを座金に差し込む。



②丁番を座金に合わせて押し付ける。(「カチッ」と音がします。)

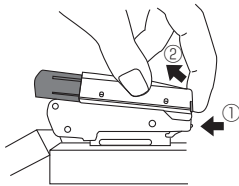


扉をキャビネットに取付けるにはヒンジアームの前部を先に合わせ座金に軽く指で押すだけです。

取り付け後、扉を2~3回開閉し固定を確認する。

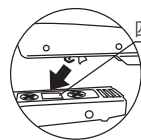
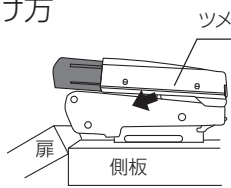
ソフトクローズ金具の取り付けと取り外し

●取り外し方

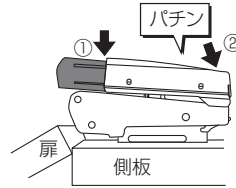


ななめ手前方向に引き上げます。

●取り付け方



ソフトクローズのツメを四角穴に入れる。



前方①を固定しておき、後方②をおさえパチンと音が出るまでしっかりとめる。

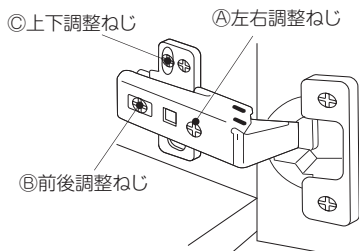
注意

無理な脱着は、部品の破損原因になります。

開き扉(丁番)の調整

扉が傾いたり、がたついているときは、丁番で調整してください。

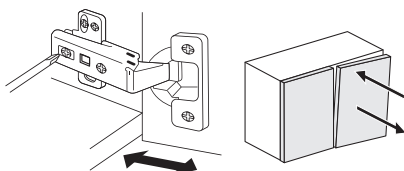
※ソフトクローズ金具が付いている場合は、あらかじめ取り外しておく必要があります。



※イラストは右扉の場合です。
左扉の場合は丁番が上下逆さになります。

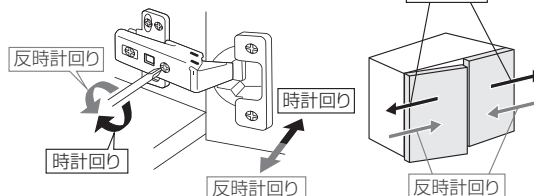
扉の前後調整

扉を取り付けた後㊸をゆるめて前後調整し、締めなおします。



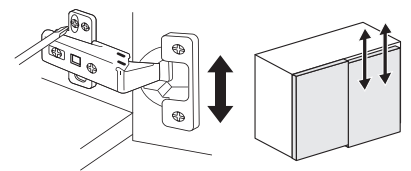
扉の左右調整

㊸の固定ねじを締めたまま㊹をまわして、左右調整をします。



扉の上下調整

㊸をゆるめて扉ごと上下調整をしたあと、締めなおします。



引き出しの取り外しと取り付け・調整方法

引き出しの取り付けと取り外し

⚠ 安全上のご注意 (必ずお守りください)

必ず両手で引き出しを持って取り外すこと。

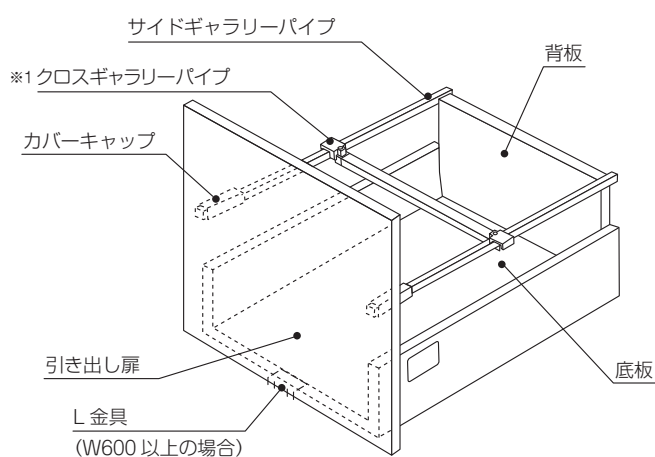
落下してけがをするおそれがあります。

確実に引き出しが固定されているかを確認すること。

レールから外れて落下するおそれがありますので、必ず開閉を数回 (一番手前まで引き出し、最後まで押し込む) 実施して、確実に固定されていることを確認してください。

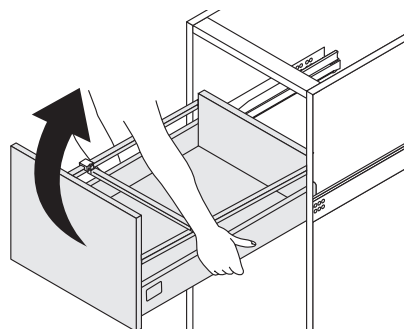
〈部品名称〉

【ベアリングレールタイプ】



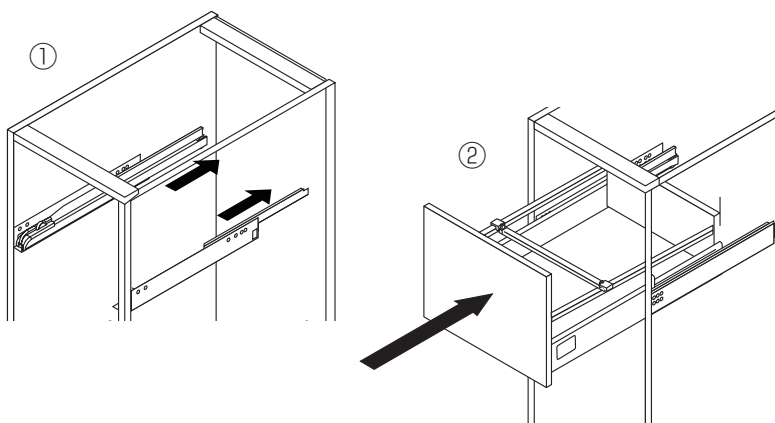
●取り外し方

- ①引き出しを手前に出します
- ②引き出しを上を持ち上げて引き抜きます。



●取り付け方

- ①左右のレールをキャビネット内におさめます。
- ②引き出しをレールの上に乗せて押し込みます。
「カチャ」と音がしたことを確認します。



※1 洗面用の引き出しには付いていません。

引き出しの取り外しと取り付け・調整方法

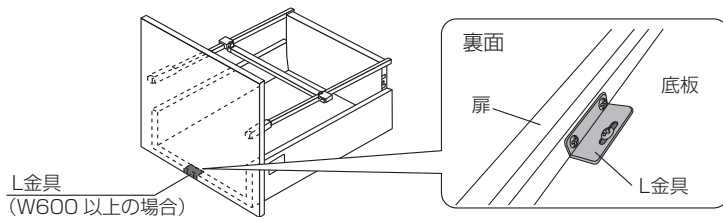
⚠ 調整時のご注意

【キャビネット間口600mm以上の場合】

引き出し底板の裏にL金具がついていますので、固定ビスをはずしてから行ってください。

L金具：扉の反り防止用

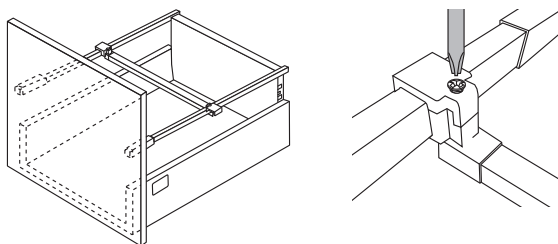
重要：取り付け後（調整後）は必ずビスを取り付けてください。



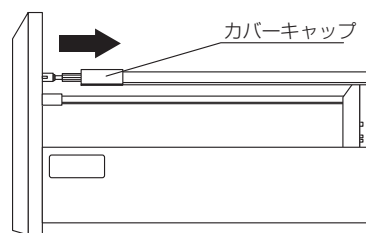
引き出しの取り付けと取り外し

● ギャラリーパイプの外し方 ※付いてる場合

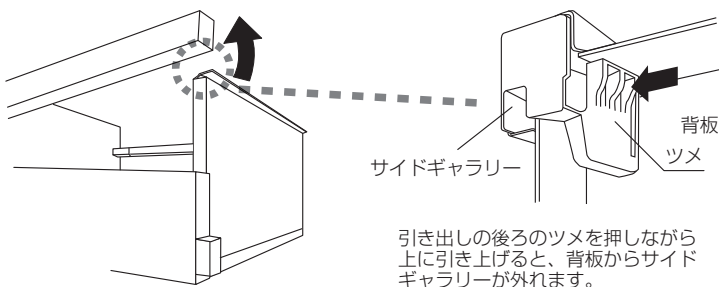
①クロスギャラリーパイプを外します。



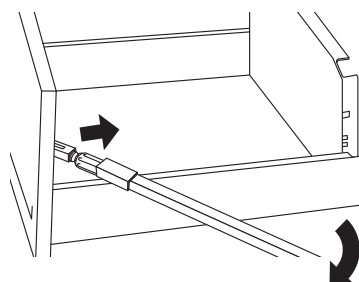
②カバーキャップを奥方向にスライドさせてください。



③サイドギャラリーを背板から取り外します。

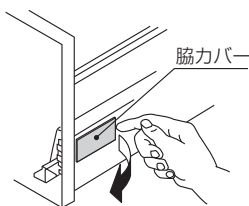


③ギャラリーパイプを倒して扉からダボを抜きます。

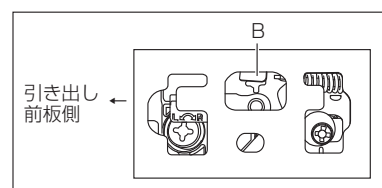
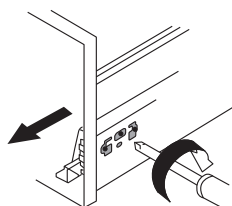


● 引き出し扉の外し方

①引き出し左右の脇カバーを取り外します。



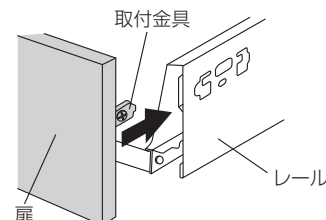
②B部に+ドライバーを差し込み、引き出し後ろ側に止まるまでまわすと、引き出し扉が外れます。



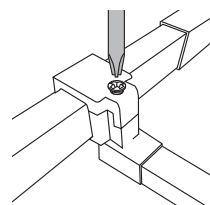
● 引き出し扉の取り付け方

①扉の取付金具をレールに差し込みます。「カチッ」と音がします。

※取り付け金具が差し込めないときはB部の状態を確認してください。B部全体が見えていないときは、⊕ドライバーで引き出し後ろ側に止まるまでまわしてください。

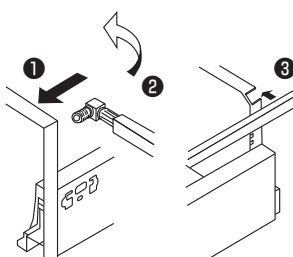


④クロスギャラリーを取り付けます。



● ギャラリーパイプ取り付け方

- ①ギャラリーパイプ先端ダボを前板下穴に入れます。
- ②パイプを引き出し前板に対し、垂直に起こします。
- ③ギャラリーパイプ後端部を背板に押し付けて入れます。



引き出し扉の調整

警告



必ずおこなう

取り付けたら、傾き・ガタつき・ゆるみがないことを必ず確認してください。

使用中に落下してけがをするおそれがあります。

注意



必ずおこなう

調整はハンドドライバーを使用してください。電動工具を使用すると破損するおそれがあります。

調整時のご注意

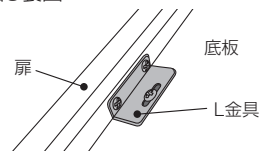
【キャビネット間口600mm以上の場合】

引き出し底板の裏にL金具がついていますので、固定ビスをはずしてから行ってください。

L金具：扉の反り防止用

重要：取り付け後（調整後）は必ずビスを取り付けてください。

引き出し裏面

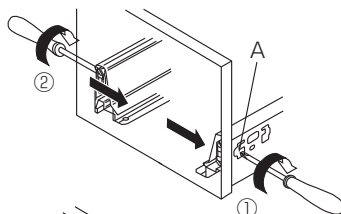


扉の調整【ベアリングレールタイプ】

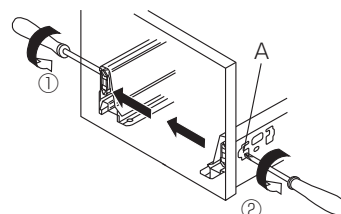
●左右の調整方法

ビスAを⊕ドライバーで調整します。
(左右調整 ±1mm)

右へ1mm (調整範囲)



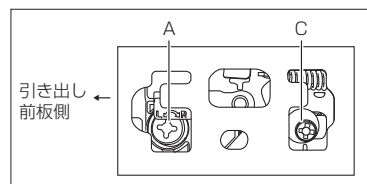
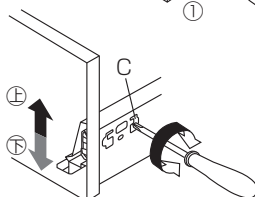
左へ1mm (調整範囲)



●上下の調整方法

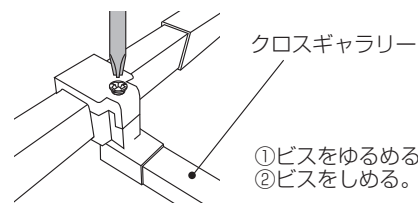
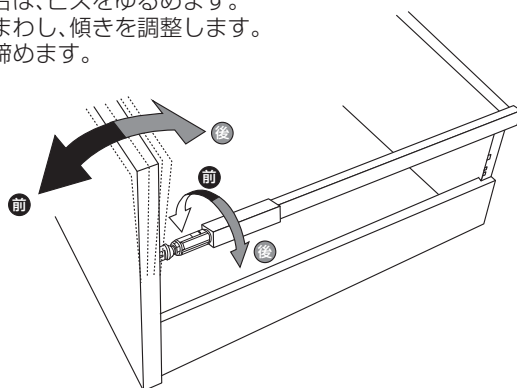
ビスCを⊕ドライバーで調整します。
(上下調整 ±2mm)

上下調整
±2mm



●引き出し扉角度調整方法

- ①クロスギャラリ付きの場合は、ビスをゆるめます。
- ②サイドギャラリパイプをまわし、傾きを調整します。
- ③クロスギャラリのビスを締めます。



- ①ビスをゆるめる。
- ②ビスをしめる。

シーリング

⚠ 注意

シリコンコーキング剤は防かび剤入りを使用する。

⚠ 注意



必ずおこなう

シーリングは確実に行う。

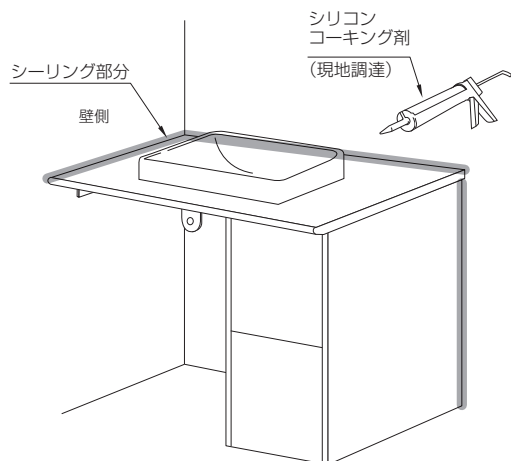
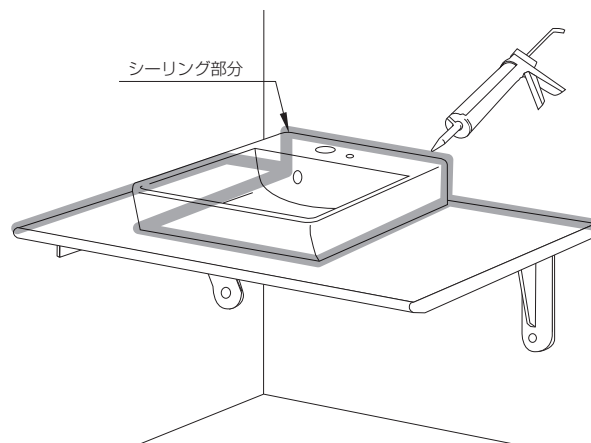
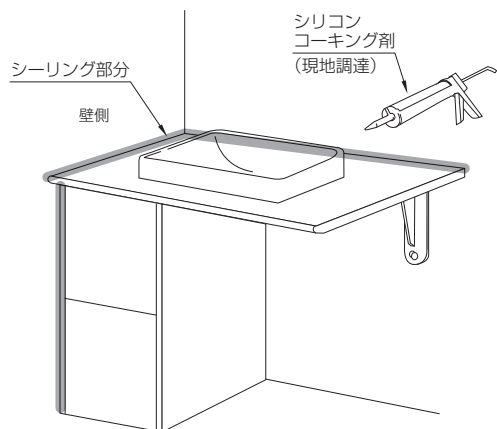
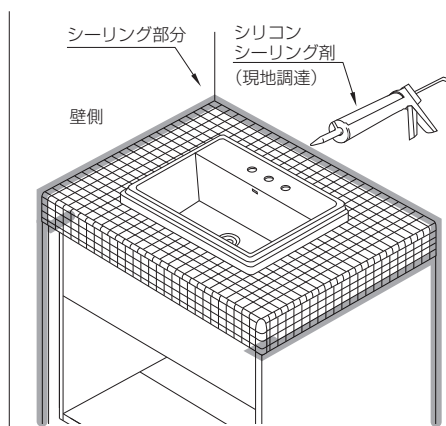
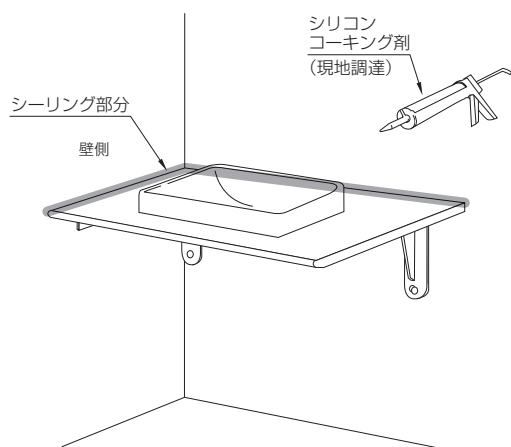
不備があると水漏れし、家財に損害を与えるおそれがあります。

シーリング

カウンターと壁など、接合部にシリコンコーキングをする。

木製・タイルカウンターの場合は『クリア』を推奨します。

人工大理石カウンターの場合は『ホワイト』を推奨します。



取付・設置後の確認・点検(管工事、電気工事完了後)

- 取付・設置完了後、以下の確認・点検を行ってください。
 - (1)水栓の通水点検
 - 水栓を全開にして、配管内のゴミを洗い流してください。
 - 水栓から湯と水が出るか、水栓が正常に作動するか、確認してください。
 - 水の勢いが強く水はねが多い場合は、止水栓(現地調達)にて調整してください。
 - (2)水濡れ点検
 - 水栓・排水器具から水濡れがないか、確認してください。
 - (3)キャビネットとミラーキャビネットの点検
 - 壁面固定ねじによって固定されているか、確認してください。
 - キャビネットにガタつきがないか確認してください。
 - 繰り返し扉を開閉して、確実に丁番で固定されているか、確認してください。
 - 丁番で扉の段違い調整をしてください。
 - (4)清掃
 - 各部の点検終了後、清掃を行ってください。
 - (5)その他の確認事項
 - 引き渡しの際は取扱説明書・保証書を渡すとともに、ご使用の注意・お手入れ方法などについて説明を行ってください。

〈取付・設置業者様へ〉

各種取扱説明書は必ずキャビネット内にまとめてお引き渡しください。